



Originアプリマニュアル

※iOSやandroidにより、画面表記が異なる場合があります。
※iOSやandroidのみの機能があります。

目次

(各ページのセレストロンロゴをクリックすると目次に戻ります。マウスカーソルが手形に変化する場所はリンクが貼ってあります。)

- ・ Origin アプリ画面説明
- ・ Origin アプリのダウンロード
- ・ Origin Intelligent Home Observatory の設置と Origin アプリの接続 (ダイレクト接続モード)
- ・ Origin Intelligent Home Observatory の設置と Origin アプリの接続 (ネットワーク接続モード)
- ・ 撮像する天体の検索と導入
- ・ イメージングを開始
- ・ 撮像画像の共有や編集
- ・ 画像ギャラリー
- ・ メニュー
 - ナイトビジョン
 - OneSky
 - イメージングスケジュール
 - 今夜のスケジュール
 - 望遠鏡コントロールを表示
 - 望遠鏡の再中心化
 - 設定
 - WiFi設定
 - バージョンと更新
 - 詳細設定
 - リモートファイルの管理
 - アカウント
 - アカウント情報
 - プライバシー
 - デフォルト設定に戻す
 - ディスプレイオプション
 - 外観と動作
 - 地平線と空
 - 太陽系
 - 星
 - 銀河、星雲、星団
 - 天の川
 - 星座
 - グリッドとリファレンス
 - 強調表示された天体

- 通知
- ユーザーデータ
 - ストレージ
- 時間と場所
 - 日付と時刻
 - 位置
- ・ カメラ画面
 - スナップショット



日本では屋外でWiFiを使用する際は、2.4GHzを使用するため、設定の「5GHz帯のアクセスポイントを使用する」は有効にしないでください。

1.星図画面：現在時刻の星空を表示します。画面に表示されている星をタップすることができます。

2.強調表示された天体: 今夜見やすい天体をオレンジ色の○で囲んで表示します。[設定] から非表示にすることもできます。

3.コンパスアイコン：コンパスアイコンをタップして機能をONにすると、スマートフォンなどのコンパスと星図が同期して、スマートフォンなどを向けた方向の星図を表示します。

4.選択十字線：星図から天体をタップすると、その天体の周囲に選択十字線が表示され、11のオブジェクト情報バーに選択した天体名が表示されます。

5.十字線アイコン：十字線アイコンをタップすると、オブジェクト情報バーに表示された天体をOrigin Intelligent Home Observatoryが自動導入します。

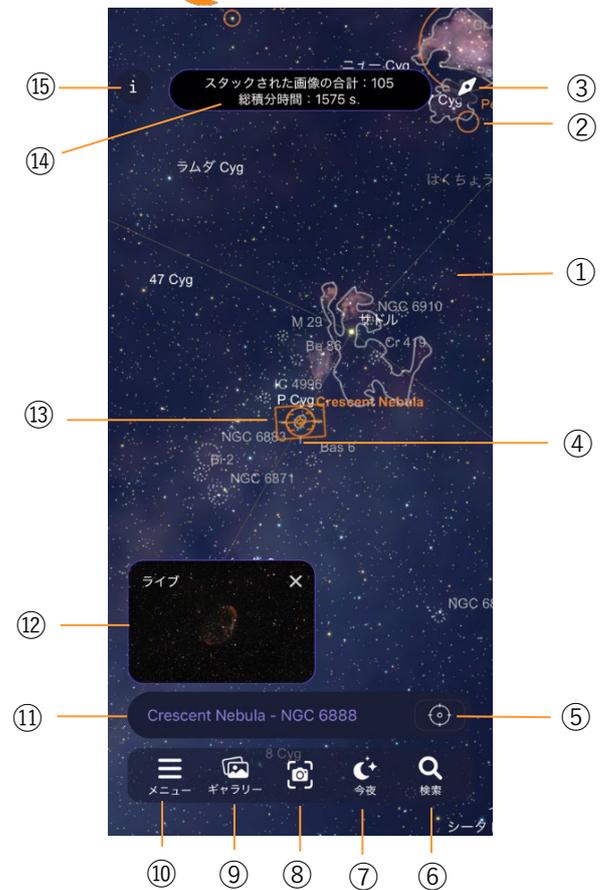
6.検索：今夜のベストや惑星、彗星、直接天体名を入力して見たい天体を検索することができます。

7.今夜：日出や日没時間、月齢、今夜のおすすめ銀河、星雲、星団の情報を確認することができます。

8.カメラ画面：フィルターの取替えやイメージングの開始、リフレーション機能などを制御します。

9.ギャラリー：撮像した画像をすべての画像やお気に入り、新着から表示方法を変えることができます。

10.メニュー：ナイトビジョンやOneSky、イメージングスケジュール、今夜のスケジュール、望遠鏡コントロールを表示、望遠鏡の最中心化、設定の機能を使用することができます。



11.オブジェクト情報バー：星図からタップされた天体の名称が表示されます。名称をタップすると天体の詳細情報を確認することができます。

12.ピクチャー・イン・ピクチャー (PIP)：Origin Intelligent Home Observatoryのカメラからのライブ映像を表示します。

13.十字線：Origin Intelligent Home Observatoryが現在空に向いている位置を表示します。

14.ステータスバー：Origin Intelligent Home Observatoryの動作状況が表示されます。撮像状況、スタック枚数、総露出時間などが表示されます。

15.ステータスインフォページ：Origin Intelligent Home Observatoryの細かな稼働状況が表示されます。全般やネットワーク、架台位置、フォーカサー、環境など細かな情報を表示します。

メニューアイコンをタップすると表示されます。

16. ナイトビジョン：夜の観測にスマートフォンなどの画面が明るい場合に、ナイトビジョンモードで画面を赤くして明るさを低減して表示します。

17. OneSky：Simulation Curriculum社のOneSkyデータベースに接続することができます。OriginアプリだけでなくSimulation Curriculum社のSkySafarアプリを使用している他のユーザーが、どの天体を観測しているかを知ることができ、観測するのに最適な天体を選択することができます。

18. イメージングスケジュール：以前今夜のスケジュールで撮像した画像のダウンロードができます。

19. 今夜のスケジュール：今晚撮影したい天体の予約を行うことができます。星図の天体をタップするか、検索などから天体を選び、今夜のスケジュールに追加することができます。

20. 望遠鏡コントロールを表示：スナップショットモードなどで地上風景を撮影する場合、望遠鏡の向きを変える為にOriginアプリに望遠鏡コントローラーを表示します。

21. 望遠鏡の最中心化：長時間の使用でカメラ画面に切替えた際、目標天体が画面中心にない場合に再度アライメントを行ないます。

22. 設定：ディスプレイオプションや日付と時刻など星図画面のカスタマイズや星図でのシミュレーションの為、日付や時刻などの設定を変更することができます。

ギャラリーアイコンをタップすると表示されます。

23. 新着：過去1日間に撮影した画像のみが表示されます。

24. お気に入り：お気に入りとして選択した画像の



みが表示されます。

25. 選択：選択をタップすると、画像を選択できるようになります。画像の共有や削除を行うことができます。

26. 画像：Origin Intelligent Home Observatoryで撮像された画像が表示されます。iOSやiPad OSの場合、写真フォルダーに保存されたOrigin Intelligent Home Observatoryで撮像された画像を削除するとギャラリーに表示されなくなります。androidの場合は、内部ストレージのDCIM、Celestron Originフォルダーに保存されたOrigin Intelligent Home Observatoryで撮像された画像を削除するとギャラリーに表示されなくなります。

27. すべての画像：Origin Intelligent Home

Observatoryで撮像されたすべての画像が時系列準に表示されます。

28.天体名でフィルタリング：指定した天体名の画像のみを表示します。

カメラ画像アイコンをタップすると表示されます。

29.閉じる：このカメラ画像を閉じ、星図画面に戻ります。

30.リフレーム：撮像天体の位置を少し移動させた時に、画像を指でタップしてドラックしながら位置の微調整ができます。

31.イメージングを開始：イメージングを開始をタップすると、撮像が開始されます。撮像中はイメージングの終了ボタンに変化します。撮像を終了する場合は、イメージングの終了をタップしてください。

32.クリアフィルター：標準のクリアフィルターをオプションのネビュラーフィルターに取替える時にタップします。街中での撮影はネビュラーフィルターが必須です。

33.上矢印ボタン：撮像条件の詳細を表示します。自動やマニュアル、フォーカス、スナップショットなど選択することができます。

今夜アイコンをタップすると表示されます。

34.太陽：今日の日出や日没の時間を表示します。>マークをタップすると太陽の詳細情報を確認できます。

35.月：今日の月齢や月の出、月の入の時間を表示します。>マークをタップすると月の詳細情報を確認できます。

36.すべて表示>：すべて表示をタップすると今夜のベスト画面が表示され、今晚撮影できる天体の一



覧を表示します。

37.最もお勧めの天体：今晚撮影できる最もお勧めの銀河や星雲、星団が表示されます。表示される天体数は多くありません。もっと確認したい場合は、36の [すべて表示 >] をタップしてください。

検索アイコンをタップすると表示されます。

38.プランナー：観測プランナー画面が開きます。天体タイプから指定したり、高度や等級の制限、カタログや星座に制限して撮像天体を検索できます。

39.今夜のベスト：今晚お勧めの天体を一覧で表示します。Origin Intelligent Home Observatoryでは撮影の難しい天体も表示されます。見かけの大きい天体が適しています。

40.月：月や惑星の衛星を検索することができます。Origin Intelligent Home Observatoryでは月の撮像以外は難しいとお考え下さい。

41.Geostationary Satellites：静止軌道衛星の一覧を表示することができます。

42.最も明るい彗星：彗星を明るい順に一覧を表示します。地球に近づいた彗星はOrigin Intelligent Home Observatoryでも撮像可能です。

43.最も近い星：太陽を含めた地球から近い天体を一覧で表示します。太陽にはOrigin Intelligent Home Observatoryを向けないでください。CMOSセンサーの破損につながります。

44.変光星ベストセレクション：変光星のベストセレクションを一覧で表示します。

45.メシエ天体：お勧めのメシエ天体一覧を表示します。地平線下の天体は暗く表示されますので、明るく表示されているメシエ天体から検索してください。

46.NGC-IC天体：NGCカタログやICカタログのお勧めの天体を一覧で表示します。天体情報を表示させた場合は、自動翻訳で表示される物もあるため日本語表記がおかしくなっているものもあります。

47.カルドウェル天体：カルドウェルカタログ天体の中からお勧め天体の一覧を表示します。

48.銀河、星雲、星団ベストセレクション：Origin Intelligent Home Observatoryで撮像できるお勧め天体を一覧で表示します。[今夜のベスト]では天体数が膨大になるため、[銀河、星雲、星団ベストセレクション]の方が使いやすいかもしれません。

49.二重星ベストセレクション：二重星のお勧め天体のみを一覧表示します。

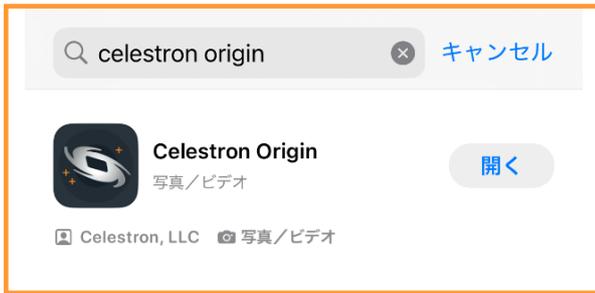
50.最も明るい星：太陽を含む、最も明るい星の一覧を表示します。太陽にはOrigin Intelligent Home Observatoryを向けないでください。CMOSセンサーの破損につながります。

①.最も明るい小惑星：最も明るい小惑星の一覧を表示します。

②.GPS Satellites：GPS衛星の一覧を表示します。

③.太陽と惑星：太陽と惑星の一覧を表示します。太陽や惑星の撮像は、Origin Intelligent Home Observatoryでは難しいとお考え下さい。

④.🔍天体名を入力：天体名が分かっている場合に一番簡単な検索方法です。M31やM42など入力してください。



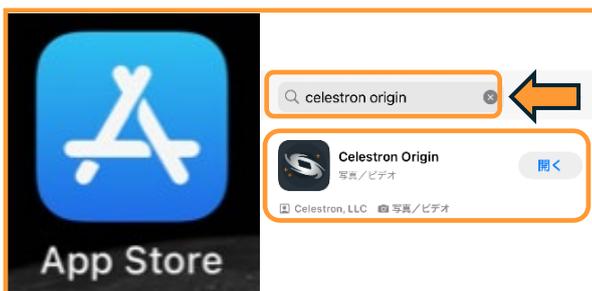
Originアプリのダウンロード

Originアプリは、iOS版やandroid版共に無料でダウンロード、使用することができます。

1.iPhoneシリーズの場合は、App Storeからダウンロードすることができます。

iPhoneを起動し、App Storeのアイコン  をタップします。虫眼鏡の検索窓に [celestron origin] と入力し検索をタップします。Originアプリの [入手] をタップするとアプリがインストールされます。

インストールが完了するとiPhoneの画面に  アイコンが表示されます。



2.androidスマートフォンの場合は、Play ストアからダウンロードすることができます。

androidを起動し、Play ストアのアイコン  をタップします。虫眼鏡の検索窓に [celestron Origin] と入力し検索をタップします。

Originアプリの [インストール] をタップするとアプリがインストールされます。

インストールが完了するとandroidの画面に  アイコンが表示されます。



Originアプリページからダウンロードすることもできます。

<https://www.vixen.co.jp/app/origin/>

Originアプリ対応OS

- ・ android12以上
- ・ iOS16.6、iPadOS16.6以上



Origin Intelligent Home Observatoryの設置とOriginアプリとの接続(ダイレクト接続モード)

Origin Intelligent Home Observatoryの設置とアプリとの接続は簡単です。

- 1.三脚に内蔵されている水準器を確認しながら三脚を水平に設置します。



- 2.三脚に片持ち経緯台架台を設置し、三脚下部の3本のネジを使用して固定します。

- 3.鏡筒を取付けて、ケーブルを使用して鏡筒と架台を接続します。鏡筒をおおよそ水平に設置してください。詳しくは、Origin Intelligent Home Observatory付属のQuick Setup Guideをご参照ください。

- 4.片持ち経緯台架台の電源をONにします。Origin Intelligent Home Observatory鏡筒のステータスLEDリングが反時計回りの渦巻きパターンになるまでしばらく待ちます。



- 5.スマートフォンなどの画面からをタップしてOriginアプリを起動させます。初めてOrigin Intelligent Home Observatoryと接続する場合、クイックスタートが自動で起動します。画面を右側にスワイプさせ、[OriginのWiFiネットワークにダイレクト接続]ページを表示させ、[今すぐダイレクト接続]をタップします。





6. [Origin-000に接続しようとしています。] と表示されますので、接続をタップします。

注.最初から [Origin-000に接続しようとしています。] と表示されることがあります。また、2回目以降の接続は [Origin-000に接続しようとしています。] が表示されます。



接続が完了すると、Origin Intelligent Home Observatoryが自動で上の方向に向き、オートフォーカスしてピントを調整します。その後、2点自動で撮影をしてアライメントが完了します。ステータスバーには現在のOrigin Intelligent Home Observatoryの状況が表示されます。

これで撮像の準備が整いました。

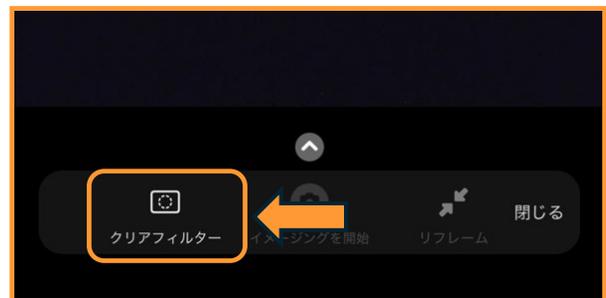
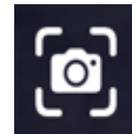
初期設定中、オートフォーカスが成功しない場合があります。都市部の光害や月明かりがある場合、Origin Intelligent Home ObservatoryのF2.2光学系では明るすぎてピントが調整できません。その場合は、CMOSカメラの手前のフィルター引出しに付いているクリアフィルターをネビュラーフィルターなどに取替える必要があります。

お勧めはセレストロン製Origin Intelligent Home

Observatory用ネビュラーフィルターですが、他社製の厚み8mm以内 (M28.5×P0.6、M48×P0.75) のフィルターも使用可能です。

最初に、Origin Intelligent Home Observatoryのフードを取外します。フィルター引出しのハンドルを引っ張ってフィルター引出しを取外します。クリアフィルターをフィルター引出しから取外し、ネビュラーフィルターなどを取付けてください。詳しくはOrigin Intelligent Home Observatory取扱説明書の [5.オプションのフィルターを使用する] をご参照ください。

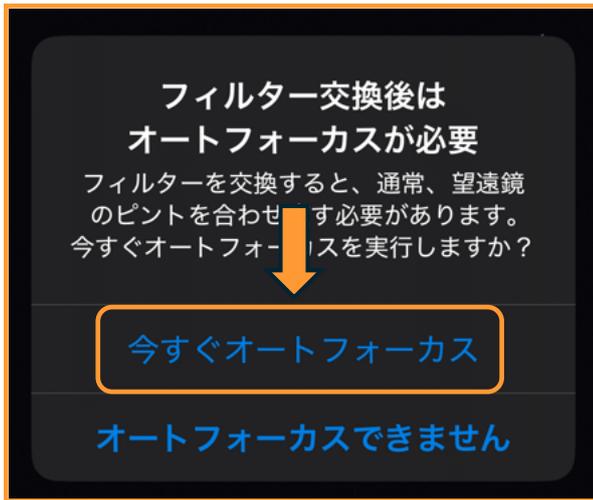
フィルター交換が終了したらカメラ画面アイコンをタップします。



クリアフィルターをタップします。



[フィルター交換] をタップします。フィルター交換後はオートフォーカスが必要と表示されます。初期化を再開するとオートフォーカスを行いますが、ここでオートフォーカスできるか確認することをお勧めします。



[今すぐオートフォーカス] が成功したら[望遠鏡の再初期化]をタップして再初期化を開始してください。オートフォーカスが成功していますので、初期化で再度オートフォーカスしますがすぐに完了します。初期化が完了したら撮像したい天体を検索します。





Origin Intelligent Home ObservatoryとOriginアプリとの接続(ネットワーク接続モード)

Origin Intelligent Home ObservatoryとOriginアプリとの接続は、無線LANなどを使用してインターネット接続にも対応しています。OneSky機能やREPLAY機能を共有で保存する場合は、ネットワーク接続モードでの使用しか対応していません。

1. Origin Intelligent Home ObservatoryとOriginアプリを通常のダイレクト接続モードで接続させます。メニューアイコンをタップして [設定]、[WiFi設定] をタップします。



[WiFi設定] 画面でのネットワーク名は [Origin-000] と表示されます。



2. 画面下部に [望遠鏡に見えるWiFiネットワーク] を確認すると、近くに無線LANなどが設置していると設置している無線LANなどのSSIDが表示されます。SSIDをタップすると、パスワード入力を要求されますのでSSIDに対応した暗号化キーを入力し[追加]をタップします。[WiFiネットワークの設定] に登録したSSIDが表示されれば登録完了です。



3. [望遠鏡のWiFiを再起動します] をタップします。50秒程お待ちください。再度、Origin Intelligent Home ObservatoryがSSIDと接続を試みます。初期化が始まれば、ネットワーク接続モードでの接続が成功です。



初期化が終了し、撮像の準備が整ったらメニューアイコンをタップして [設定] をタップします。WiFi設定にSSIDが表示されています。

[望遠鏡に見えるWiFiネットワーク] にSSIDが表示されない場合、無線LANの有線ポートに空きがある場合は無線LANの有線ポートと、Origin Intelligent

Home ObservatoryのLANポートを接続してダイレクト接続モードをお試しください。

ネットワーク接続モードでは、スマートフォンなどを開かずに、Origin Intelligent Home Observatoryが無線LANに接続されるとすぐに初期設定が開始されます。



撮像する天体の検索と導入

Origin Intelligent Home Observatoryのアライメントが自動で終わると、天体撮像の準備が完了です。ここでは、撮像する天体の検索方法と天体の自動導入方法をお伝えします。

1. Originアプリの今夜アイコン

をタップします。



今日の日没と月の出や入の時間情報と共に、今夜もっともお勧めの天体一覧が表示されます。



銀河や星雲、星団でお勧めの天体が表示されますが、表示される天体数はさほど多くはありません。気になる天体はOrigin Intelligent Home Observatoryでぜひ撮像してください。

2. Originアプリの検索アイコン

をタップします。



今夜のベストが一番お勧めです。今夜のベストは、星雲や星団、銀河だけでなく二重星や彗星など見やすい天体を表示することができます。かなりの天体が表示されます。

先程の [今夜] の画面で [すべて表示 >] をタップすると、この今夜のベストの画面が表示されます。

通常は、今夜のベストをタップすると撮像したい天体は簡単に見つけることができます。



今夜のベストでは、かなりの数の天体が表示されます。ただ、視直径の小さな天体も表示されますのでOrigin Intelligent Home Observatoryでは小さくしか撮像できないこともあります。

今夜のベストの天体表示には並び替える機能もあります。



今夜のベストの右横のアイコンをタップするとフィルタリングと並び替えの設定を選ぶことができます。ご希望の並び替えなどをお選びください。他のカテゴリーを選択した場合でも、この並び替えが使えますので適時ご使用ください。(2024年12月現在、android版ではこの並び替えアイコンが表示されていません)

3.今夜のベストの下に [太陽や惑星]、[月] などいくつかのカテゴリーを選択することができます。



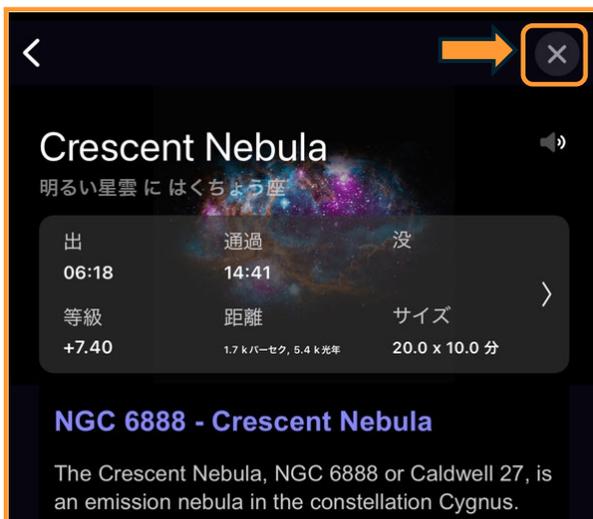
メシエ天体やNGC天体を撮影したい場合、[メシエ天体]、[NGC-IC天体] を選択してください。その

後、撮影したい天体をタップしてください。表示の暗い天体は、現在地平線下を示しています。

4.撮影したい天体がある場合には直接検索ボックスに入力してください。



入力が完了しましたら、 search (androidの場合は虫眼鏡) をタップします。画面が切り替わり、オブジェクト情報画面が立上がります。



内容を確認しましたら、画面の [×] をタップして画面を閉じます。

星図画面に戻ると、オブジェクト情報バーに選択した天体の名称が表示されます。オブジェクト情報バーの右横の十字線アイコンをタップすると、選択した天体に



向けてOrigin Intelligent Home Observatoryが動き出し目標天体を自動導入します。目標天体の近くでOrigin Intelligent Home Observatoryが一度停止して、プレートソルビング技術を使用して視野の中心に目標天体を導入します。





イメージングを開始

十字線アイコンをタップして選択十字線が目標天体に重なったら撮像開始です。

カメラ画面アイコンをタップしてカメラ画面を開きます。



画面上部には、導入した天体の名称が表示されます。[イメージングを開始] をタップすると撮像が開始します。スタッキングされてゆく様子が画面で確認することができます。



Originアプリ画面でのスタッキング画像を確認しながら、撮像を中止したい場合はイメージングの終了をタップします。



[放棄] をタップすると、保存せずに撮像データを削除します。[ダウンロードして保存] をタップすると画像処理後の最終画像が、Origin Intelligent Home Observatory本体やOriginアプリ、iPhoneなどの[写真] やandroid端末の[アルバム] にも保存されます。撮像時間を伸ばしたい場合は[イメージングを続ける] をタップします。

ピントをもう少し追込みたい場合はカメラ画面のアイコンをタップします。



感度や露出、フォーカスをコントロールするアイコンが表示されます。オート時に使用できる機能はフォーカスのみになります。



使えない機能は灰色のアイコンになります。スナップショットは地上風景や月などを撮影する場合に使用します。オート時はフォーカスとスナップショットが使用できます。

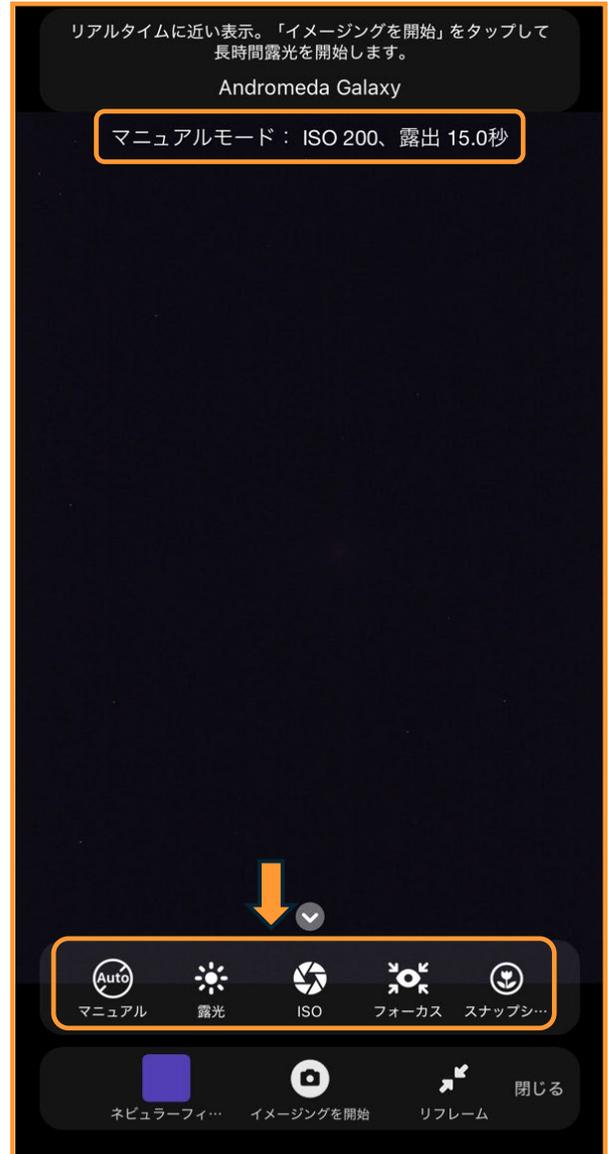
フォーカスアイコンをタップするとピントの微調整ができます。



ピントを微調整する場合は [+10] や [-10] をタップしてスマートフォンやタブレットの画面で確認してください。画像をピンチアウトして拡大すると確認がしやすくなります。ピントが分かりにくくなった場合には [オートフォーカス] をタッチするとピント調整されます。



また、[自動] をタップするとマニュアルモードになり、ピント調整以外も変更させることができます。すべてのアイコンが有効表示されますので、Origin Intelligent Home Observatoryの操作に慣れましたら、操作してみてください。



[マニュアル] モードになるとISO感度や露出時間を調整することができます。



[露光] アイコンをタップすると露出時間を調整することができます。



[+] [-] をタップすることで1秒から30秒まで設定することができます。Origin Intelligent Home Observatoryは経緯台架台のため、視野回転の影響を

受けますので、撮像する天体の位置によって露出時間を調整してください。[自動]モードでは、[クリアフィルター]使用の場合は10秒、[ネビュラーフィルター]使用の場合は15秒がデフォルトです。



[ISO] アイコンをタップするとISO感度を変更することができます。

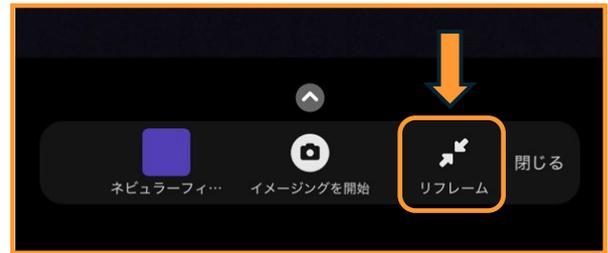


ISO200感度がデフォルト設定です。非常に暗い空の場合やナローバンドフィルターを使用する場合にISO2000感度をご使用ください。通常はゲインが高くなりすぎて、Origin Intelligent Home Observatoryが初期設定を失敗してしまいます。この場合、Origin Intelligent Home Observatoryは自動的にISO200感度まで下げ、警告を表示します。ISO100感度は恒星や星団を撮影する場合に、ノイズを最小限にするために設定してみてください。

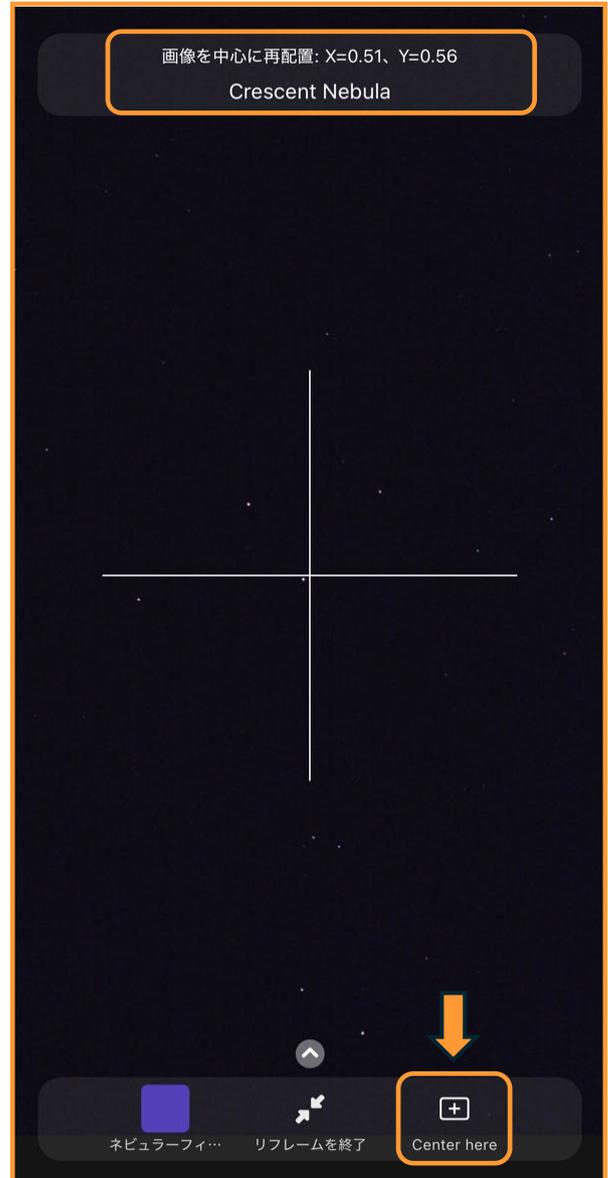
[スナップショット] モードは別項スナップショットで解説します。

撮像天体の位置を少し移動させたい場合は、[リフレーム]機能が便利です。散開星団で有名な二重星団は自動導入する際、[NGC869]か[NGC884]を指定しますが、そうすると指定した片方の星団が中心にきてしまいます。この時リフレーム機能を使用することで、画像の中心を微調整することができます。

目標天体を自動導入しカメラ画面アイコンをタップすると星図画面からカメラ画面に切替わります。



リフレームアイコンをタップします。短時間撮像された画像に十字線が表示された画面が開きます。

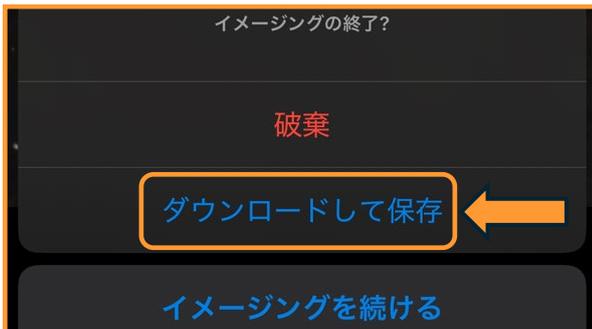


画像をタップし、タップしたまま十字線の中心に新しく画像の中心にしたい位置まで画像をドラッグします。画像をドラックしたら、[Center here]をタップします。Origin Intelligent Home Observatoryが動き出し画像の中心を新しい位置まで調整します。調整が完了したら、[リフレームを終了]をタップします。



撮像画像の共有や編集

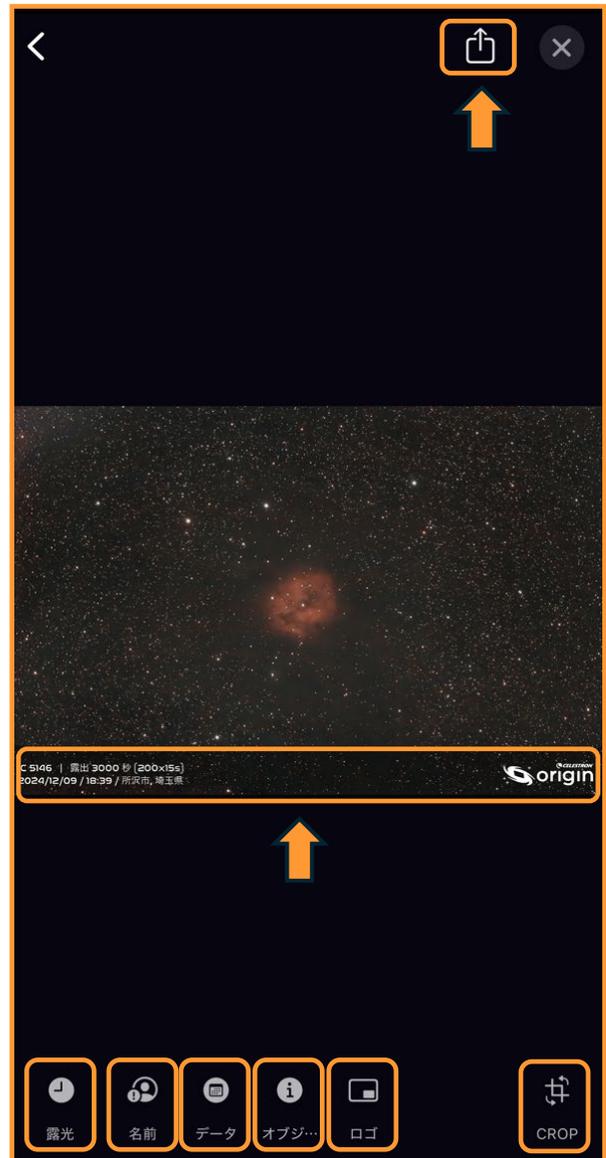
Originアプリでイメージングの終了をタップし、
[ダウンロードして保存] をタップするとOriginアプリに最終画像が表示されます。



[お気に入り] をタップすると、ハートマークが白くなり、お気に入りに登録されます。
ギャラリーを表示させた時、お気に入りでソートすることができます。



[共有] をタップすると、メールやSNSで画像を共有することができます。



[露光] をタップすると、画像の露出時間が表示されます。

[名前] をタップすると、アカウント情報で設定した画像名か本名が表示されます。

[データ] をタップすると、撮影日付や場所が表示されます。

[オブジェクト (オブジ...)] をタップすると天体名が表示されます。

[ロゴ] をタップするとOriginロゴが表示されます。

[CROP] をタップすると、画像を回転させることができます。



 このアイコンをクリックすると画像を左90°に回転することができます。横画像を縦画像に変更できます。

 画像の回転を元に戻すことができます。

 画像の対比を変更できます。[オリジナル] [スクエア] [3 : 2] [5 : 3] [4 : 3] [5 : 4] [7 : 5] [16 : 9] を選択できます。



このアイコンをクリックすると画像を右90°に回転することができます。横画像を縦画像に変更できます。

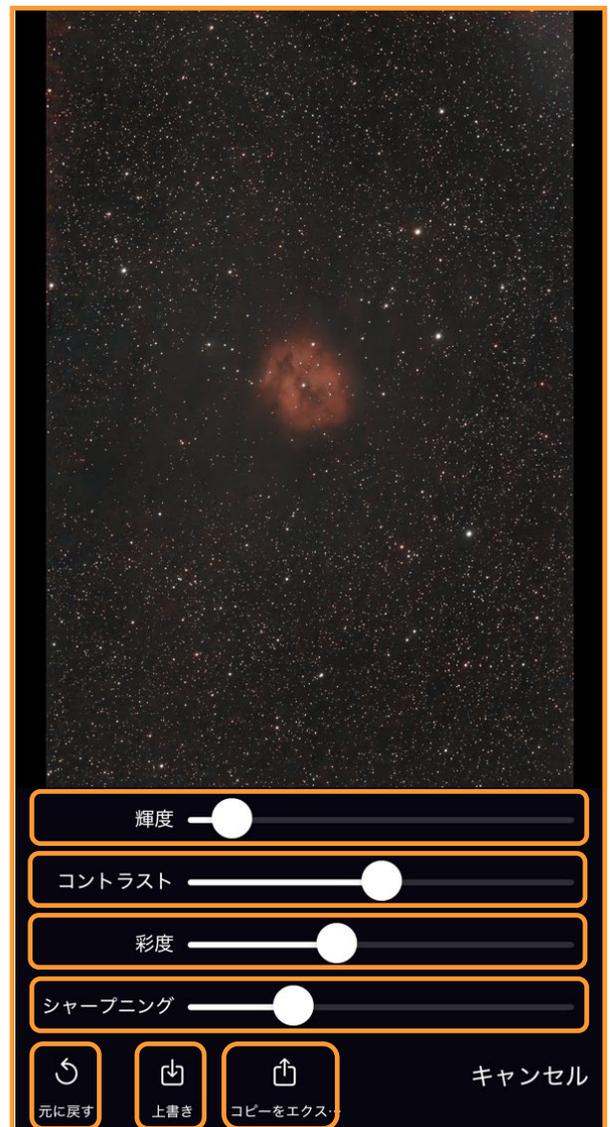
[完了] をタップすると、画像の回転を反映して[CROP]を終了します。

撮像データやロゴ、画像の回転などが完了しましたら、共有アイコンをタップして、メールやSNSに画像を投稿して下さい。



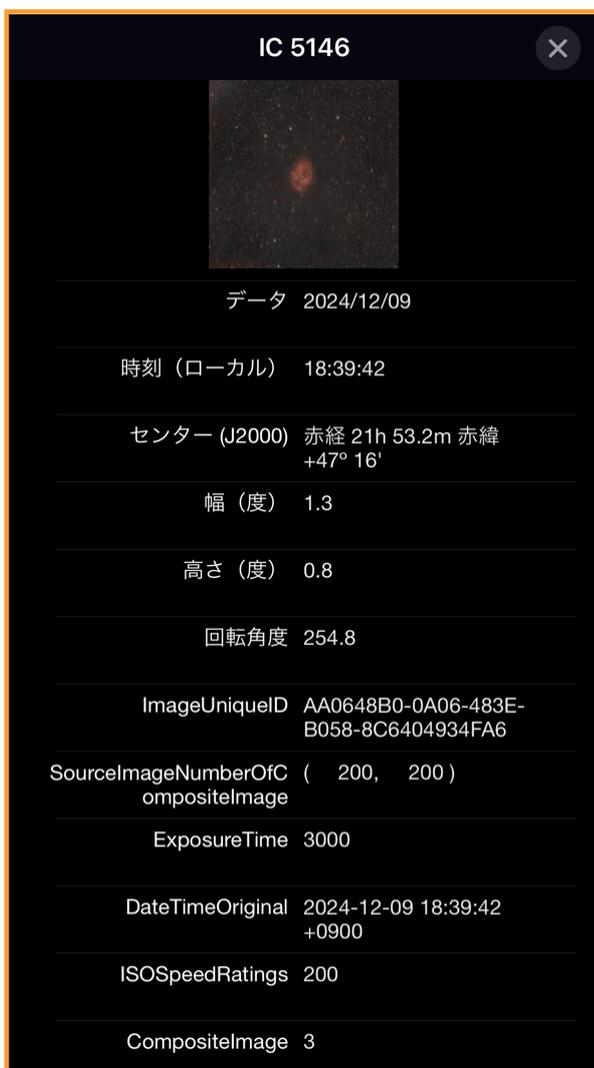
[削除] をタップすると、表示している画像を削除します。

[編集] をタップするとOriginアプリ上で簡単な画像処理を行うことができます。



[輝度] [コントラスト] [彩度] [シャープニング] を調整することができますので、お好みで調整してください。元にもどしたい場合は、[元に戻す] を、画像調整した画像を保存する場合は [上書き] をタップします。[コピーをエクス...] をタップすると、元画像に変更は行わず、画像処理した画像をiOSの写真やandroidのアルバムなどに保存します。

[情報] をタップすると画像情報を確認することができます。



[REPLAY] をタップすると、画像のスタッキングの様子を高速動画として再生します。画像が鮮明になる様子を確認することができます。Origin Intelligent Home Observatoryをネットワーク接続モードでスマートフォンなどと接続していた場合は、REPLAY動画を共有として保存することができます。

ます。なお、REPLAY動画は次の画像の撮像を始めると削除されます。また、Origin Intelligent Home Observatoryの電源を切ってしまうと削除されます。

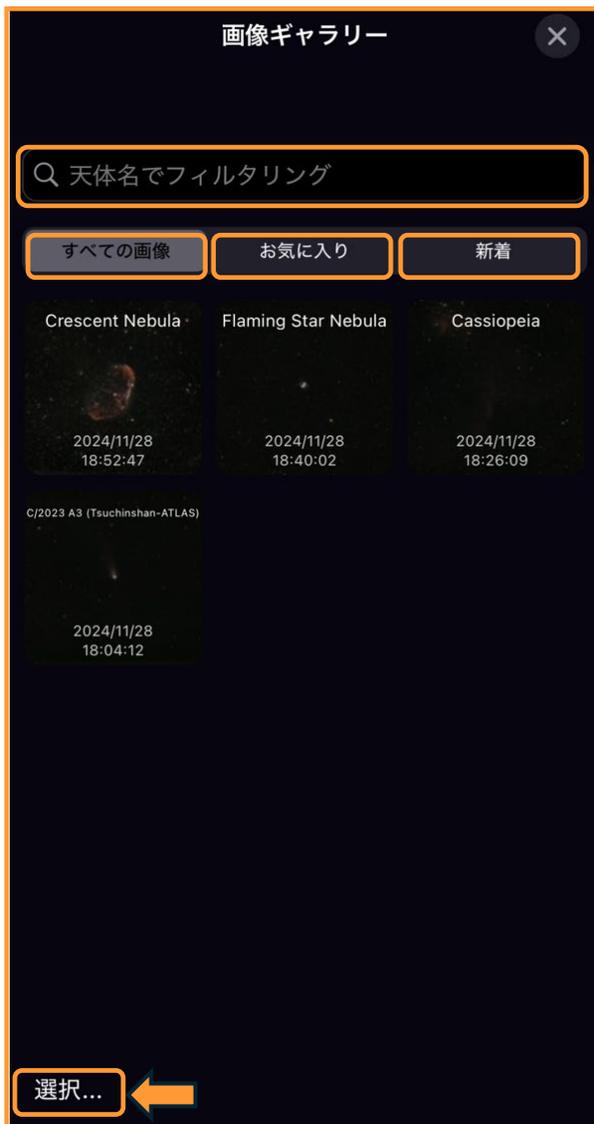


画像ギャラリー

撮像した画像を天体名や新着、お気に入りなどで表示したり、画像を共有したりできます。ギャラリーアイコンをタップします。



ギャラリー



「天体名でフィルタリング」に天体名を入力すると入力した天体名の画像のみが表示されます。

「すべての画像」をタップすると保存されている天体全てを表示します。

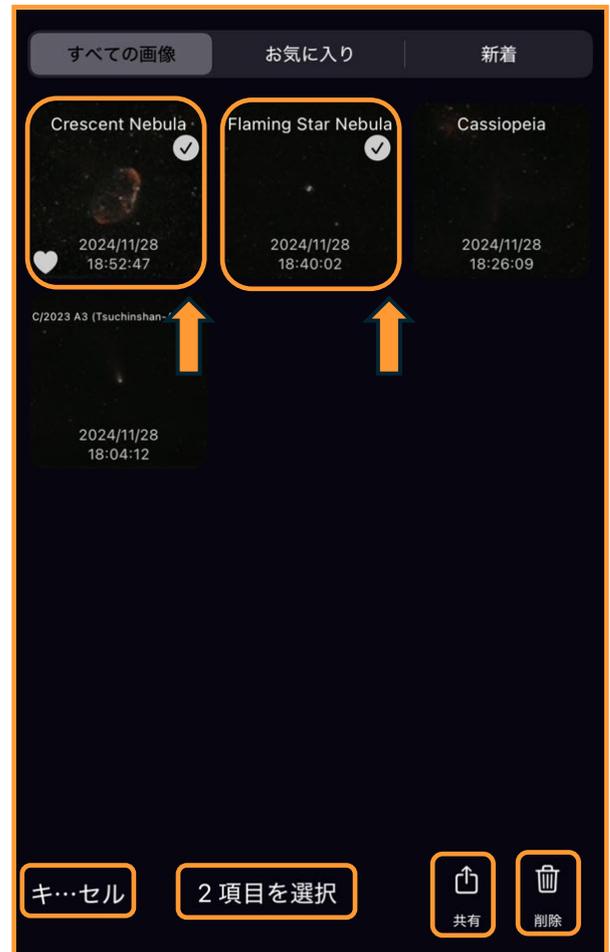
「お気に入り」をタップするとお気に入りに指定した画像のみが表示されます。表示されている画像をタップすると大きい画像が表示され、お気に入りアイコンをタップするとお気に入りに追加されます。



お気に入り



「新着」は過去1日間に撮像した画像のみが表示されます。



「選択…」をタップすると、画像を選択することができます。一括で共有させたり、削除させる場合に

便利です。[キ…セル] をタップするとキャンセル
されます。タブレットの場合は [キャンセル] と表
示されます。

注意：iPhoneやiPadでは写真アプリ

からOrigin Intelligent Home
Observatoryで撮像した画像を
削除するとギャラリーに表示



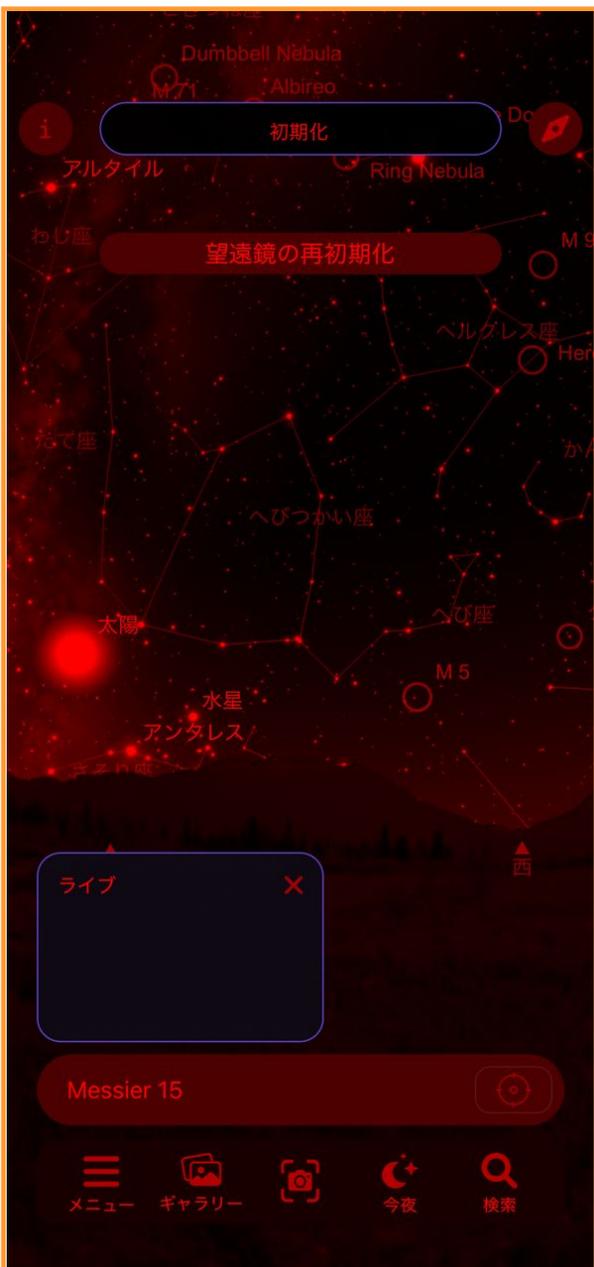
されなくなります。またandroid端末の場合は、内
部ストレージの [DCIM]、[Celestron Origin] か
ら画像を削除すると、ギャラリーに表示されなくな
ります。



メニュー: ナイトビジョン

Originアプリを使用中、スマートフォンやタブレットの画面が明るいと感じた場合、眼に優しい赤い表示に変更できます。

メニューアイコンをタップして
[ナイトビジョン] をタップし
ます。



ナイトビジョンモードを終了させるには
再度、メニューアイコンをタップして
[ナイトビジョンをオフにする] をタップします。



ご使用のスマートフォンやタブレットの明るさを暗くするのも一つの方法です。ご使用の機種取扱説明書をご確認の上、設定してください。



メニュー: OneSky

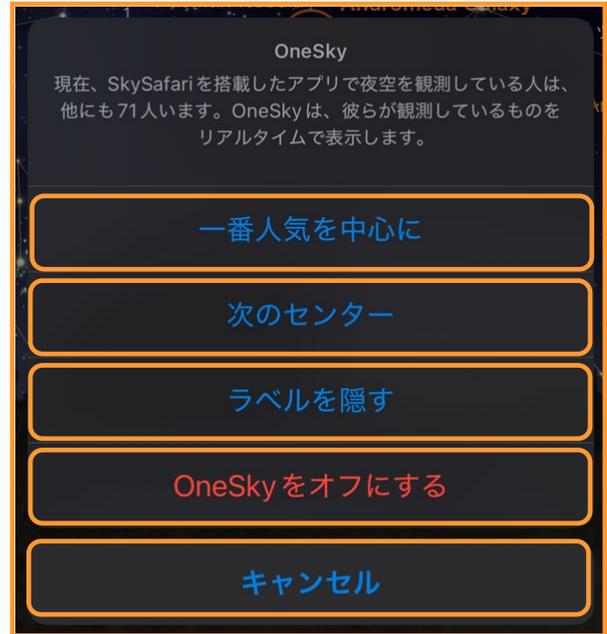
Originアプリでは、Simulation Curriculum社のOneSkyデータベースに接続することができます。Originアプリだけでなく、Simulation Curriculum製SkySafari7シリーズ使用している観測者がどの天体を観測しているかを確認することができます。撮像天体を選ぶ参考にもなります。

メニューアイコンをタップして
[OneSky] をタップします。



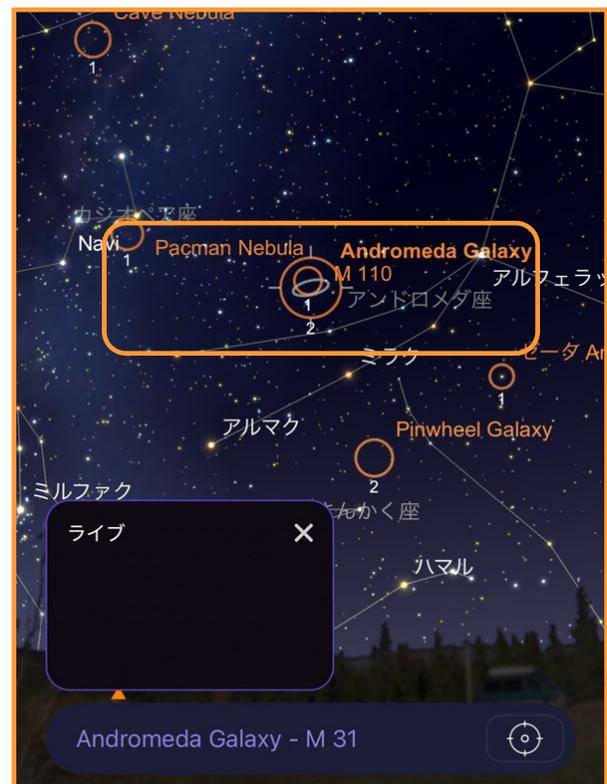
このアイコンには、現在OneSkyデータベースに接続している人数を表示しています。また、強調表示されている今夜お勧めの天体の下に表示されている数が、現在その天体を観測している人数になります。観測されている数の多い天体を撮像してみるのも良い考えです。

OneSkyスカイアイコンをタップするとオプションが表示されます。



[一番人気を中心に] をタップすると、現在OneSkyを使用しているユーザーが一番観測されている天体を星図画面中心に表示します。

[次のセンター] をタップすると二番目に観測されている天体を星図画面中心に表示します。



[ラベルを隠す] をタップすると強調表示された天体のオレンジ色の名前が消えます。観測者数の数字が見やすくなります。

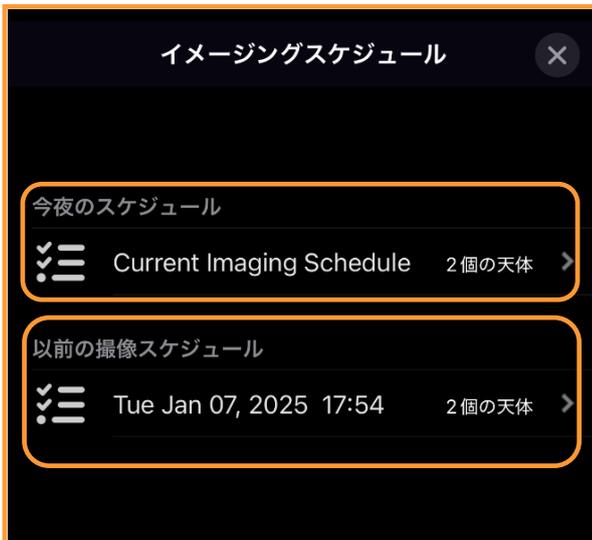
[OneSkyをオフにする] をタップするとOneSkyメニューを終了します。

OneSkyオプションを非表示にするときは [キャンセル] をタップしてください。



メニュー: イメージングスケジュール

Originアプリで今夜のスケジュールを使用して撮像すると、以前の撮像スケジュールで画像を取出すことができます。メニューアイコンをタップして [イメージングスケジュール] をタップします。



今夜のスケジュールで撮像が完了すると [以前の撮像スケジュール] にスケジュールの日付と時刻が表示されます。そのスケジュールをタップすると、撮像画像一覧が表示されます。



撮像画像一覧の

右側にダウンロードアイコンが表示されるのでタップするとその画像がダウンロードされます。



ダウンロードが完了すると、ダウンロード完了アイコンが表示されます。





メニュー:今夜のスケジュール

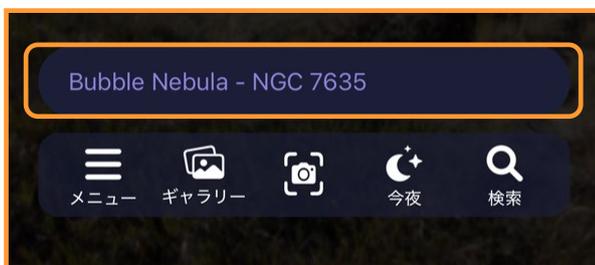
Originアプリで今夜撮影したい天体を予約することができます。今夜撮影したい天体を検索します。

Originアプリの [検索]

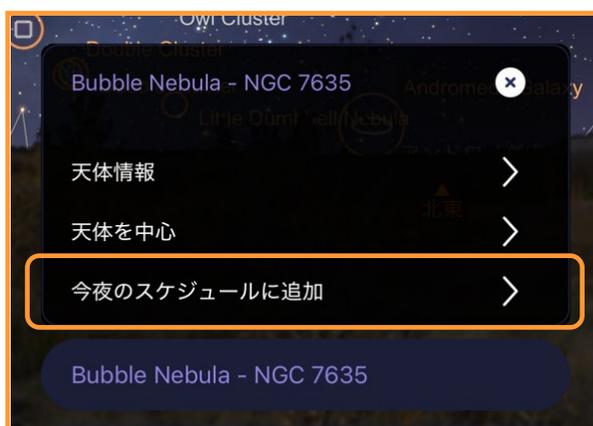
アイコンをタップします。



検索の中から撮像したい天体を選ぶと、選んだ天体の情報が表示され、情報を閉じると [オブジェクト情報バー] に撮像天体の名前が表示されます。



オブジェクト情報バーの天体名をタップすると選択メニューが表示され、[今夜のスケジュールに追加]が表示されるのでタップします。これで今夜撮像したい天体が今夜のスケジュールに登録されます。



今夜撮像したい天体を選択したら、Originアプリの

[メニュー] アイコン

をタップします。



[今すぐスケジュールを実行] をタップするとOriginアプリが日の入時間などを計算して撮像を開始します。薄暮の影響を受ける可能性があるので夕方頃は今すぐスケジュールを実行しない方がよいです。

[完了時に望遠鏡の電源を切る] をタップして有効にすると、目標天体の撮像が完了すると、自動で電源が切れます。

[各自動導入後にオートフォーカス] をタップして有効にすると、各目標の天体を導入するごとにオートフォーカスを実行します。長時間の天体を複数撮像する場合には有効です。

今すぐスケジュールを実行の場合、撮像時間などが

Automaticの場合は撮像する天体に応じて設定されています。

撮像時間

恒星：1分

散開星団：5分

球状星団と惑星状星雲：10分

銀河と散光星雲：20分

カメラ設定

クリアフィルター：10秒

ネビュラーフィルター：15秒

ISO：200

撮像開始時間や撮像時間など選択した天体に応じて設定することも可能です。

各天体右横の>をタップすると詳細設定画面を開くことができます。



[撮像の開始時間] は [Automatic] を選択すると Originアプリが自動計算で開始時間を設定しますが、[Manual] をタップすると開始時間を変更するこ

とができます。



[Manual] をタップすると時間ピッカーが表示されるので、ピッカーを回して開始時間を設定してください。

[撮像時間] も [Custom] を選択することで時間を設定することができます。



[Custom] をタップすると総撮像時間を設定する時間ピッカーが表示されます。総撮像時間は最大23時間59分ですので、撮像される天体に応じてピッカーを調節してください。

[カメラ設定] も [Manual] を設定すると、1枚当たりのサブ露出時間とISO感度を変更することができます。



天頂に近い天体の場合、サブ露出時間が30秒だと視野回転の影響を受けますので適時15秒に調整してください。また、ISO感度の2000は、空の暗い場所やナローバンドフィルターを使用していない場合に使用すると、Origin Intelligent Home Observatoryが初期設定時にオートフォーカスが成功しないことがありますのでご注意ください。



今夜のスケジュールの設定変更が完了したら、撮像

準備の完了です。オプションとして、[完了時に望遠鏡の電源を切る]や[各自動導入後にオートフォーカス]を選択できます。[今すぐスケジュールを実行]をタップすると、撮像開始時刻までOrigin Intelligent Home Observatoryが待機します。

撮像が完了すると、イメージングスケジュールからダウンロードすることができます。詳しくはメニュー：イメージングスケジュールをご参照ください。



今夜のスケジュールを中止、破棄したい場合は [スケジュールをクリア] をタップしてください。個別の撮像天体を削除したい場合は、[編集] をタップしてください。



終了] をタップします。

撮像天体一覧の左側に
アイコンが表示されるので
タップします。



撮像天体の右側の [削除] をタップすると画像が削除されます。撮像天体の削除が完了したら[編集を



メニュー：望遠鏡コントロールを表示

Originアプリでリフレーム機能を使用せず、望遠鏡を手動で動かしてフレームを移動させることができます。メニューアイコンをタップして [望遠鏡コントロールを表示] をタップします。



画面左右に [^]、[v]、[<]、[>] の矢印が表示されます。矢印をタップすると望遠鏡が対応する方向に動きます。

画面の[4×]はOrigin Intelligent Home Observatory 架台の作動速度を示します。[1×]が一番遅く、[4×]が最高速度でOrigin Intelligent Home Observatoryが回転します。タップして速度を変更してください。



2つのボックスアイコンをタップすると、赤経・赤緯座標を入力してオブジェクトを導入することがえます。

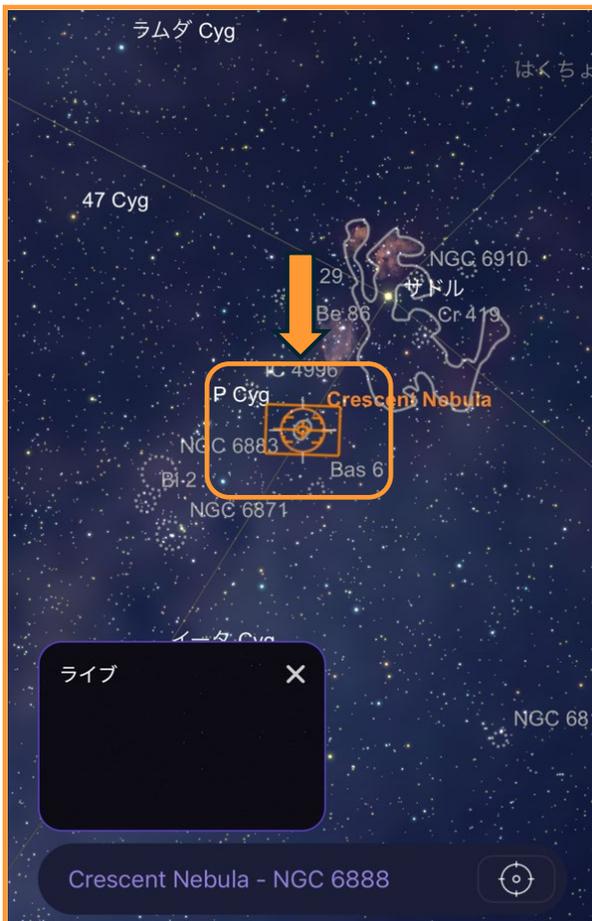


変更したい数値をタップすると数字キーが表示されますので、目的の数値を入力してください。経緯の [+]、[-] も忘れずに選択してください。入力完了しましたら、[導入] をタップすると自動導入が開始されます。新天体などの導入に最適です。



メニュー:望遠鏡の再中心化

OriginアプリでOrigin Intelligent Home Observatoryの視野十字線が星図の中心にない場合でも、Originアプリの星図画面中心にあわせることができます。メニューアイコンをタップして [望遠鏡の再中心化] をタップします。

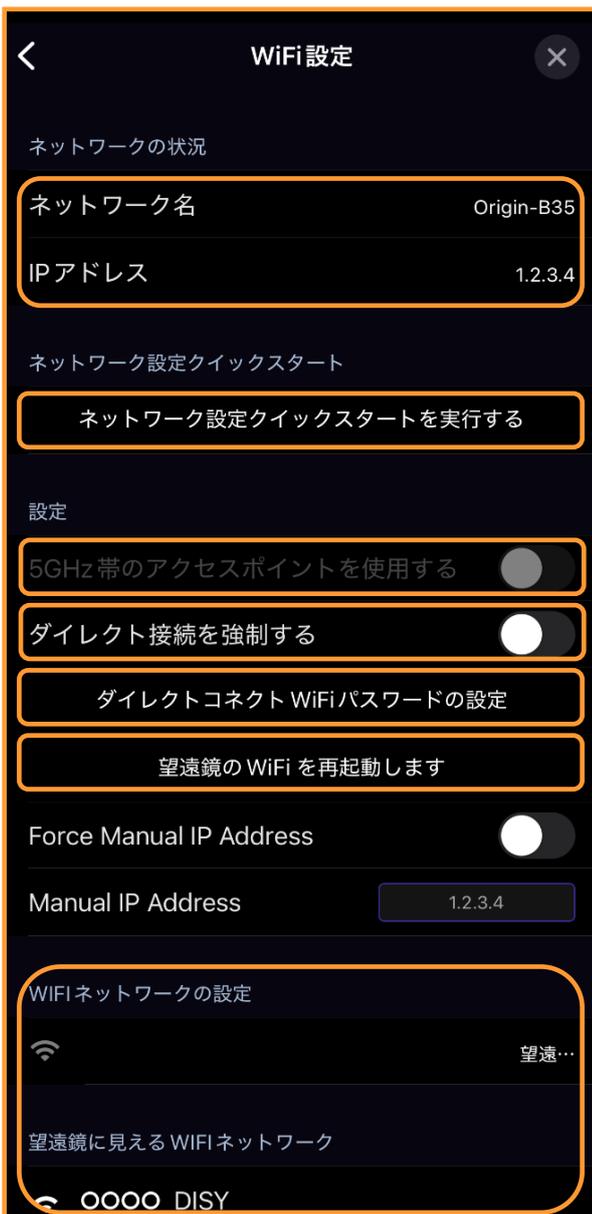


撮像したい天体を探していて、星図をスクロールした時に、Origin Intelligent Home Observatory視野中心の星図画面に戻したい時に便利です。



メニュー: 設定: WiFi設定

OriginアプリのWiFi設定を変更することができます。
メニューアイコンをタップして [設定]、[WiFi設定] をタップします。



ネットワークの状況では、ダイレクト接続モード時はネットワーク名が [Origin-〇〇〇] と表示され、ネットワーク接続モード時はネットワーク名がご使用の無線LAN器の [SSID] が表示されます。

ダイレクト接続やネットワーク接続がうまく接続されない場合は、**[ネットワーク設定クイックスタートを実行する]** をタップしてください。または、Originアプリの星図画面左上に表示される [WiFiロゴ] をタップしてもWiFi設定をすることができます。



設定の [5GHz帯のアクセスポイントを使用する] は日本では屋外での使用は認められていませんので使用しないでください。

WiFiネットワークの設定で無線LANを設定していて無線LANを使用したくない場合は、**[ダイレクト接続を強制する]** をタップすると無線LANでの接続を拒否することができます。

[ダイレクトコネクトWiFiパスワードの設定] はOriginアプリ以外から、Originの無線に接続する場合に必要なパスワードを変更することができます。デフォルトのパスワードは [1234555] です。通常は使用しない機能です。

[望遠鏡のWiFiを再起動します] はOriginアプリからダイレクト接続モードからネットワークモードなどに切替える時に使用します。通常の使用ではあまり使用しません。

[WiFiネットワークの設定] や **[望遠鏡に見えるWiFiネットワーク]** は [Origin Intelligent Home Observatoryの設置とOriginアプリの接続 (ネットワーク接続モード)] をご参照ください。



メニュー: 設定: バージョンと更新

Originアプリを使用して、Origin Intelligent Home Observatoryの本体ファームウェアのバージョンアップなどをおこなうことができます。メニューアイコンをタップして [設定]、 [バージョンと更新] を  タップします。



OriginアプリのバージョンやOrigin Intelligent Home Observatory本体のバージョンが表示されます。

[Originの自動更新] をタップして有効にし、ネットワーク接続モードでOrigin Intelligent Home Observatoryと接続すると、ファームウェアのアップデートがあると、自動でアップデートしてファームウェアを更新します。

Originアプリの自動更新を無効にして、ネットワーク接続モードでOrigin Intelligent Home

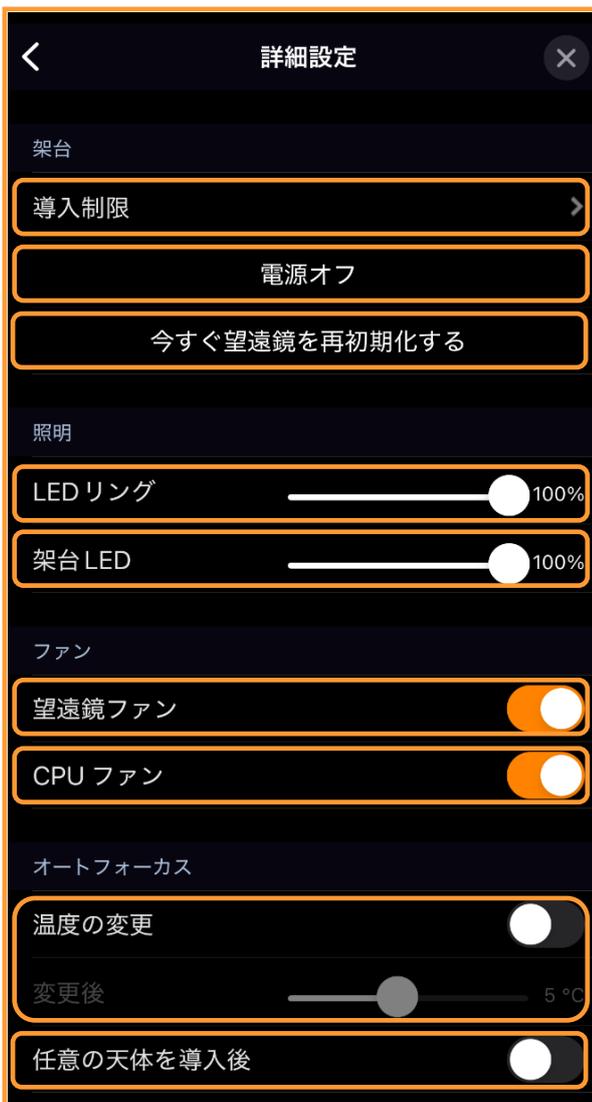
Observatoryと接続し、最新のOrigin Intelligent Home Observatoryファームウェアが公開されていた場合は、[アップデート状況] にお知らせが表示されます。Originの自動更新をタップして有効にしてアップデートをおこなってください。



メニュー: 設定: 詳細設定

Originアプリの詳細設定でOrigin Intelligent Home Observatoryの設定を変更することができます。

メニューアイコンをタップして
[設定]、[詳細設定] をタップ
します。



架台の [導入制限] はOrigin Intelligent Home Observatoryの最小高度制限を設定することができます。東側に20° 程の高さの山があった場合、導入制限の > をタップして、[最低高度の設定] をスライダーで20° を設定します。高度が20° 以下の天体を

自動導入しようとした場合には、警告メッセージが表示されます。

[電源オフ] をタップするとOrigin Intelligent Home Observatoryの架台の電源を切らずにOrigin Intelligent Home Observatoryの電源をOFFにすることができます。遠隔でOFFにする時に便利です。

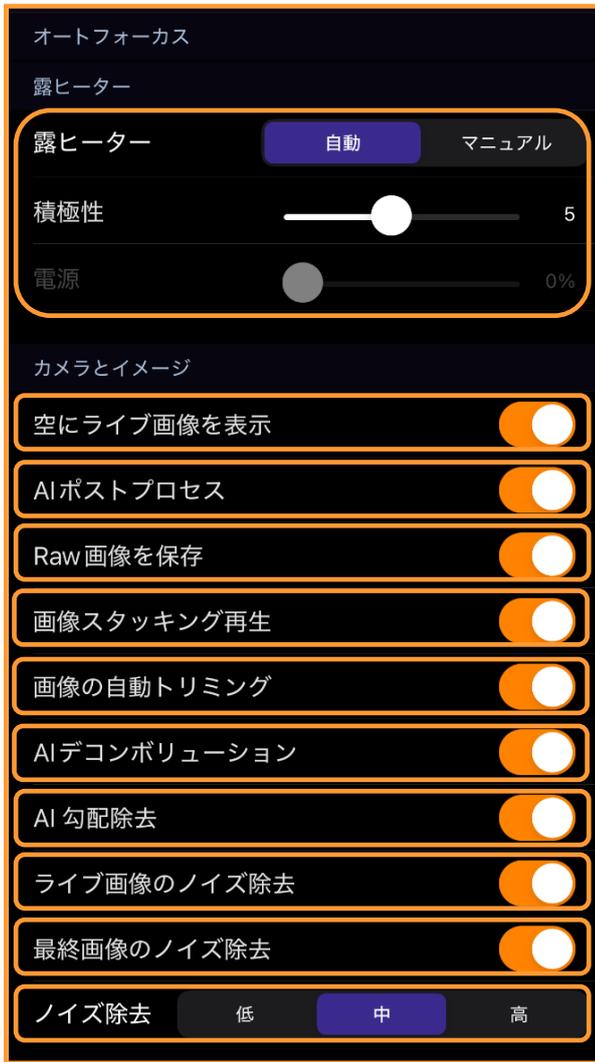
[今すぐ望遠鏡を再初期化する] をタップするとOrigin Intelligent Home Observatoryの導入精度が悪くなった場合などに再初期化することができます。

照明の [LEDリング] と [架台LED] はOrigin Intelligent Home Observatoryの鏡筒LEDや架台のトレイを照らすLEDの明るさを調整することができます。スライダーをご希望の%に設定してください。

ファンの [望遠鏡ファン] や [CPUファン] はOrigin Intelligent Home Observatory鏡筒内の筒内気流や内蔵Raspberry Pi4 を冷却しますので、通常は有効のままお使いください。

オートフォーカスの [温度の変更] は内蔵の環境センサーを使用して、温度変化の程度でOrigin Intelligent Home Observatoryを再フォーカスさせます。温度の変更をタップして有効にし、スライダを使用して1° から10° の任意の温度に設定してください。

[任意の天体を導入後] をタップすると撮像天体を自動導入後、再度オートフォーカスするかを選択できます。



露ヒーターはOrigin Intelligent Home Observatory内蔵の結露防止ヒーターリングの強さを調整することができます。

【自動】を選択している場合は、内蔵の環境センサーを使用してOrigin Intelligent Home Observatoryが気温と湿度から露点を計算して自動で調整します。積極性は1から10まで設定できます。デフォルトは5ですが、気温が低く、湿度の高い観測地の場合は、積極性を高く設定してください。

【マニュアル】は結露防止ヒーターリングのパワーを0から100%の間で設定します。環境センサーを使用して自動調整をおこないませんので、バッテリーの使用量が多くなります。気温が低く、かなり湿度が高い時などにご使用ください。

カメラとイメージでは撮像時の画像処理方法の設定をおこなうことができます。

【空にライブ画像を表示】はOriginアプリの星図画

面にライブ画像を表示します。

【AIポストプロセス】はAI画像処理のONとOFFが切替わります。通常は有効のままご使用ください。

【Raw画像を保存】はOrigin Intelligent Home ObservatoryにRAW画像（FITS形式）が保存され、Origin Intelligent Home ObservatoryにUSBメモリを使用してUSBメモリに画像を転送することができます。Origin Intelligent Home Observatoryの画像保存容量はさほど大きくはありませんので、通常はこの機能はOFFになっています。早めにUSBメモリに転送して、Origin Intelligent Home Observatoryのファイルは削除してください。

【画像スタッキング再生】はこのオプションは画像のスタッキング状況を短めの動画にまとめ、画像の変化が楽しめる機能です。イメージングを終了後、ダウンロードして保存し画像が表示されると

【REPLAY】アイコンが表示されます。タップすると動画が表示されます。ネットワーク接続モードで接続している場合は、共有を使用して動画を保存できます。新しい画像を撮像すると古い動画は削除されます。

【画像の自動トリミング】は経緯台の視野回転の影響を受ける画像の端を自動トリミングします。画像の自動トリミングはデフォルトで有効になっています。

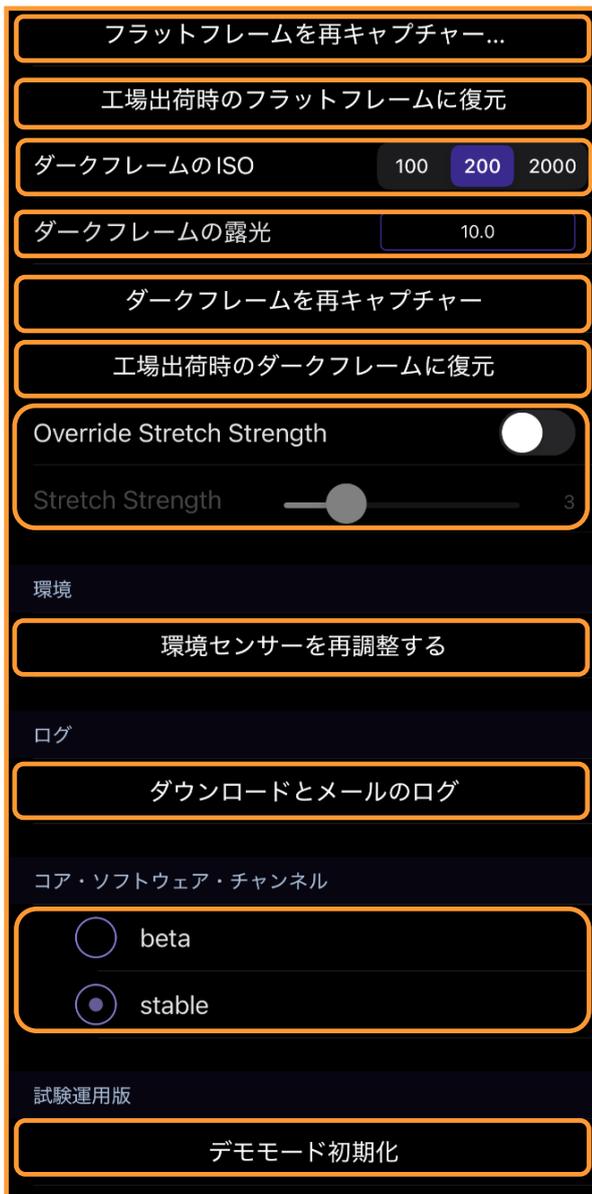
【AIデコンボリューション】はデフォルトではOFFになっています。星の見た目を引締める効果がありますが、タップして有効にすると、カメラ画面のスタッキング画像には機能せず、ダウンロードして保存する最終画像にデコンボリューションを適用します。

【AI勾配除去】は画像全体のグラデーションを除去します。

【ライブ画像のノイズ除去】はスタッキングしているすべての画像にノイズ除去を適用します。

【最終画像のノイズ除去】は最終的なスタックマスター画像にのみノイズ除去を適用します。

【ノイズ除去】は低、中、高からノイズ除去を選択することができます。デフォルトでは中が選択されています。



Origin Intelligent Home Observatoryのフラットフレームとダークフレームは工場では撮影し保存していますが、温度などの違いで再キャプチャーすることができます。

【フラットフレームを再キャプチャー…】をタップして新しいフラットフレームを撮影してください。

【工場出荷時のフラットフレームに復元】をタップすると、Origin Intelligent Home Observatoryに保存されている工場出荷時のフラットフレームに復元できます。

ダークフレームを新たに撮像する場合のISO感度と露光時間を設定することができます。

【ダークフレームのISO】は100、200、2000から選択できます。

【ダークフレームの露光】はダークフレームの露光時間を設定できます。数字部分をタップすると数字キーパッドが表示されますので、希望の秒数を設定してください。

【ダークフレームを再キャプチャー】は上記で設定したISOと露光時間で新しいダークフレームを撮像します。

【工場出荷時のダークフレームに復元】をタップすると、Origin Intelligent Home Observatoryに保存されている工場出荷時のダークフレームに復元できます。

【Override Stretch Strength】はストレッチ強度を無効にする場合に使用します。タップして有効にすると無効にする強さを1から10の範囲で設定できます。デフォルトでは無効になっています。

環境の【環境センサーを再調整する】は結露防止ヒーターリングの温度や湿度監視する環境センサーを再調整するときを使用します。湿度の高い場所にOrigin Intelligent Home Observatoryを保管していたり、Origin Intelligent Home Observatoryをしばらく使用していなかった時に環境センサーを加熱し蓄積された湿気を蒸発させ、正確なセンサー測定をさせることができますようになります。センサーの加熱と冷却にはおよそ10分かかります。

ログの【ダウンロードとメールログ】はトラブルシューティング用のログをダウンロードすることができます。

【コア・ソフト・チャンネル】はコアソフトウェアのアップデートを受信するチャンネルを変更できます。しかし、セレストロン（ビクセン）サポートの指示がない限り [bata] には切替えないでください。beta版のコアソフトウェアは常に開発中であり予期せぬ問題が発生する可能性があります。

試験運用版は店舗などのデモで使用できるモードです。【デモモード初期化】は通常 of 初期化をデモモードでおこないます。デモモードを終了するには電源をOFFにして、再度電源を入れ直してください。



メニュー: 設定: リモートファイルの管理

Originアプリのメニュー、設定の詳細設定で [Raw 画像を保存] を有効にすると、Origin Intelligent Home Observatoryに撮像天体のスタックマスターだけでなくFITS形式のサブ露出画像も保存されます。これらの画像は、Origin Intelligent Home ObservatoryにUSBメモリを接続し、コピーして取ります。



Origin Intelligent Home Observatory鏡筒後部のカバーを外し、USBメモリを接続します。

Originアプリのメニューアイコンをタップして [設定] [リモートファイルの管理] をタップします。



Originデバイスファイルマネージャーが立ち上がります。



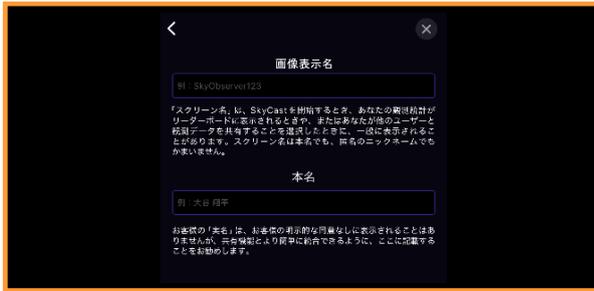
[すべてをUSBにコピー] をタップするとすべてのディレクトリを保存します。時間がかかる場合があります。



また、個別のイメージディレクトリをタップするとそのフォルダを [フォルダをUSBにコピー] をタップするとUSBメモリに保存できます。 [スタックマスターをダウンロード] や [イメージディレクトリ

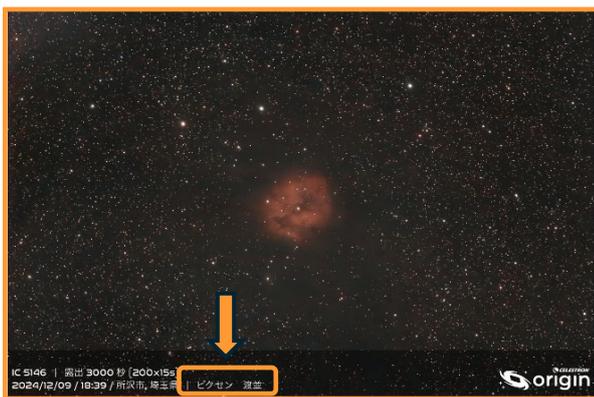
を削除する] こともできます。

Origin Intelligent Home Observatoryの画像保存容量はあまり多くはありませんので、Raw画像をUSBメモリにコピーしましたら、**[すべてのイメージディレクトリを削除する]** や **[イメージディレクトリを削除する]** をタップしてイメージディレクトリを削除することをお勧めします。

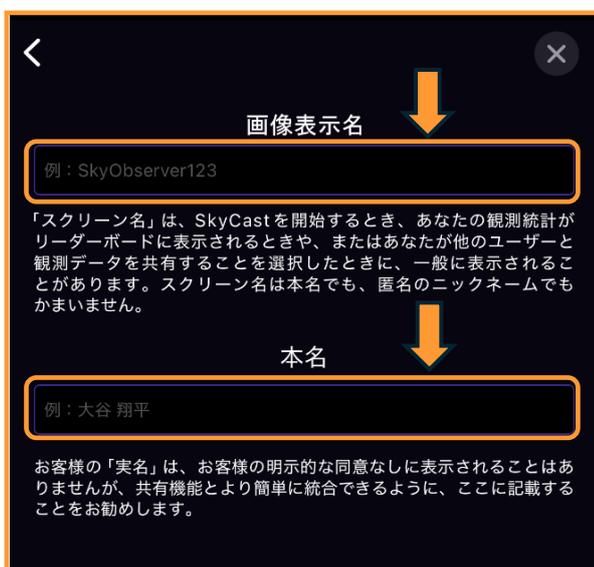


メニュー: 設定: アカウント: アカウント情報

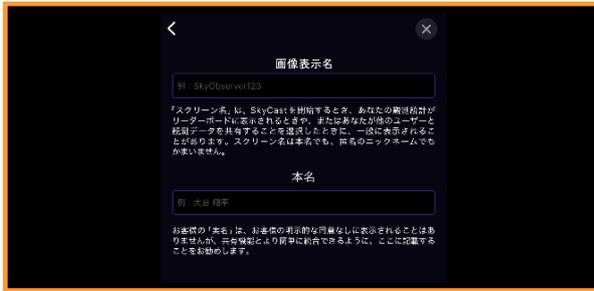
Originアプリでは、画像を共有するときに、撮像天体名や露出時間などを表示することができます。この時、撮像者名を表示することができますが、設定が必要になります。



Originアプリのメニューアイコンをタップして [設定]、[アカウント情報] をタップします。

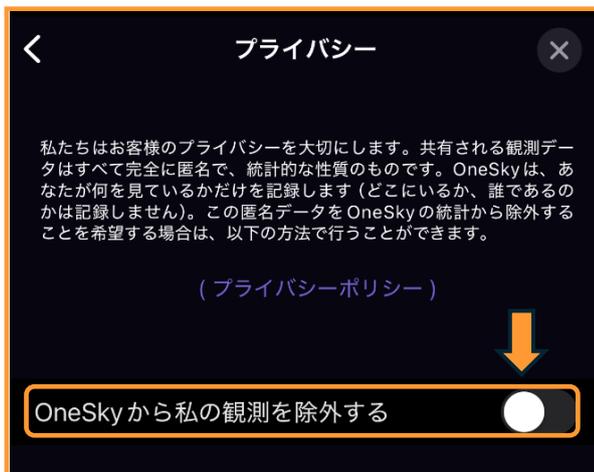


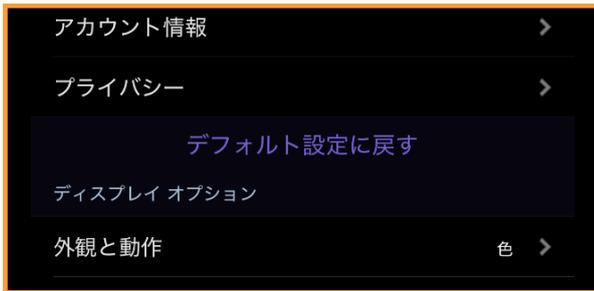
[画像表示名] は本名でなくペンネームなどでも大丈夫です。本名に名前を登録しても同意無では表示されません。



メニュー: 設定: アカウント: プライバシー

OriginアプリでのOneSkyデータベース接続時に、自分が観測している天体情報をデータベースに収集されます。位置情報や個人情報は収集されることはありませんが、どうしても心配な場合は「OneSkyから私の観測を除外する」をタップして有効にしてください。





メニュー: 設定: デフォルト設定に戻す

Originアプリの動作が不安定になり、スマートフォンなどを再起動しても直らない時は [デフォルト設定に戻す] をお試しください。

メニューアイコンをタップして [設定]、 [デフォルト設定に戻す] をタップします。



Originアプリのインストール時に戻ります。Origin Intelligent Home Observatoryに保存している画像はそのまま残ります。また、iOSなどの [写真] アプリなどに保管している天体もそのまま保存されます。



メニュー：設定：ディスプレイオプション：外観と動作

Originアプリを起動するときの星図の色や星や惑星の名前の文字の大きさを変更することができます。メニューアイコンをタップして



[設定]、[外観と動作]をタップします。



チャートの外観では星図の色を変更することができます。ご自身で見やすいカラーを選択してください。



カラー モノクロ 白黒反転

Originアプリでは画面が明るいと感じた時にはナイトビジョンモードにして明るさをおさえることができますが、赤い画面が気になる場合は、画面の明るさを調整することができます。[画面の明るさ]の



をタップすると、輝度を調整するスライダーが表示されます。左にスライドさせるごとに輝度が下がり、画面が暗くなります。丁度良い明るさになるように調整します。

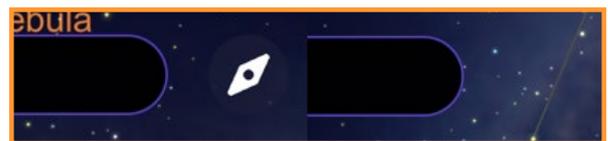


Originアプリでは、フォントの大きさを3段階で変更することができます。



Regular Large Larger

通常は [Regular] が標準設定になっています。タブレットなど大きい画面でOriginアプリを使用しているときに、文字が小さいと感じた場合に変更してください。android機種では [標準]、[大]、[特大] 表記になっています。



インターフェース要素の [Display Compass] が有効になっているとステータスバーの横にコンパスアイコンが表示されます。コンパスアイコンをタップすると実際の星空とOriginアプリの星図の向きが同じになります。Display Compassを無効にすると、ステータスバーの横にコンパスアイコンが表示されなくなります。

動作の**自動回転を許可する**をタップして有効にすると、スマートフォンやタブレットを横向きにするとOriginアプリの画面も横向きに連動します。

スリープ状態の防止をタップすると、ご自身で設定しているスリープまでの時間を無視し、スマートフォンやタブレットがスリープしないようになります。撮像中の誤動作防止に有効です。なお、Originアプリはスリープ状態になった場合でも、Originアプリを起動するとすぐに再接続されます。撮像も続けて行われていますが、念の為スリープ状態の防止は有効のままご使用ください。



android機種のみ、フォントに**英語表示**のボックスが表示されます。タップして有効にし、Originアプリを再起動させると、英語表示になります。日本語に戻すときは、[Use English] をタップし無効にしてOriginアプリを再起動します。

iOSなどの場合は、[設定] から  [アプリ]、[Origin] を選び [言語] の日本語>をタップしてEnglishをタップすることで英語表示させることができます。



メニュー:設定:ディスプレイ:地平線と空

Originアプリでは、星図画面に地平線を表示させることができます。**地平線表示**の「地平線と空を表示」をタップし有効にすると、4つの地平線を選ぶことができます。メニューアイコンをタップして「設定」、「地平線と空」をタップします。



地平線は4つのテーマから選ぶことができます。お好みでお選びください。

地上の方位を表示をタップして有効にすると東・西南・北の方位を表示します。

朝焼け・夕焼けを表示をタップすると星図上で朝焼けや夕焼けを表示します。下記の昼光を表示とセットで有効にすると美しい日の出や日の入を再現できます。



昼光を表示をタップして有効にすると昼光を表示することができます。昼間の金星を確認したりする場合に便利です。

地平線のパノラマは16つのテーマから選ぶことができます。パノラマが表示されると実際の星空を眺めている気分になります。

- 地平線のパノラマ
- Desert Road
 - Chesler Park
 - Great Meadow
 - Uluru
 - Underground Sky
 - Beaver Lake
 - Trinity Alps
 - Translucent Earth
 - Kluane Front
 - Mauna Kea
 - Meteor Crater
 - Cartoon
 - Yerba Buena
 - Hanalei Beach
 - Snowbird Summit
 - Angel Island



Underground Sky

Beaver Lake



Trinity Alps

Translucent Earth



Kluane Front

Mauna Kea



Meteor Creter

Cartoon



Desert Road

Chesler Park



Yerba Buena

Hanalei Beach



Great Meadow

Uluru



Snowbird Summit

Angel Island

種類が豊富なので、色々試してお気に入りのパノラマをお使いください。



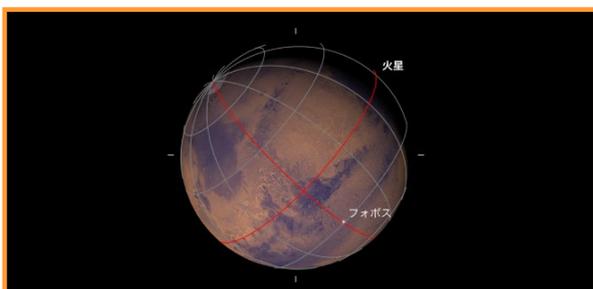
メニュー:設定:ディスプレイオプション:太陽系

Originアプリの星図に太陽や月、惑星などを表示することができます。メニューアイコンをタップして「設定」、「太陽系」をタップします。



惑星と月の表示で**惑星を表示**をタップすると星図に太陽や月、惑星を表示することができます。

グリッド表示をタップすると、太陽や月、惑星の表面座標をグリッド表示します。



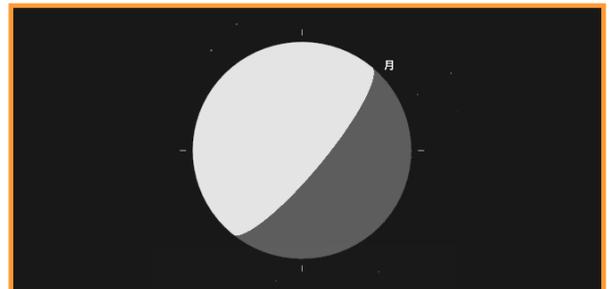
位相表示をタップして有効にすると、月の表示や拡大画像が満ち欠け表示されます。また、惑星を拡大表示した場合、太陽からの光を受け影なども表現します。

位相を無効にすると月はいつも満月表示になります。



位相を無効にした月を拡大しています。

月表面表示をタップして有効にすると月を拡大するとクレーターなどが表示されますが、タップして無効にすると単色の球として満ち欠け表示されます。



月表面表示を無効にした月を拡大しています。

名前表示をタップして有効にすると、太陽や月、惑星が表示されているときには名前が表示されます。



緑の点が衛星を表示しています。

小天体表示で**小惑星を表示**するをタップして有効にすると、小惑星が表示されます。

彗星を表示をタップして有効にすると、彗星が表示されます。

衛星を表示をタップして有効にすると、人工衛星が表示されます。国際宇宙ステーション (ISS) の動く様子も再現されます。

名前表示をタップして有効にすると、表示を有効にした小惑星や彗星、衛星の名前が表示されます。



紫金山・アトラス彗星 (C/2023 A3) を表示させています。



先程の衛星の名前を表示させました。かなりの数が表示されています。

小天体軌道データの更新

最終更新: Sun Nov 17, 2024 10:56

画面の小天体軌道データの更新の文字をタップすると、彗星や衛星などの最新の軌道データに更新されます。通常はOriginアプリを起動すると、自動で更新しますが、しばらく更新されていない場合は、[小天体軌道データの更新] をタップしてください。



メニュー：設定：ディスプレイオプション：星

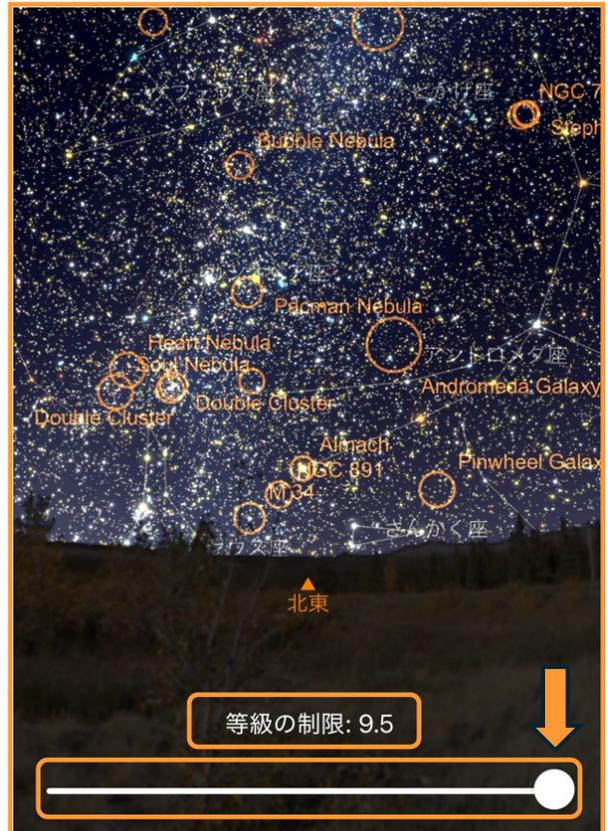
SkyPortalアプリの星図に星を表示することができます。メニューアイコンをタップして [設定]、[星] をタップします。



星を表示をタップして無効にすると、恒星の表示が消え、惑星などのみの表示になります。



等級の制限は恒星を0から9.5等級までの間で表示を変えることができます。



等級の制限のスライダーを左右に動かして画面上の星を見やすいように星の数を調整してください。



名前を表示をタップすると恒星の固有名などを表示することができます。固有名詞をタップして有効にすると、日本語の固有名が表示されますが、一部日本語に翻訳されていない恒星名もあります。



ギリシャ記号をタップして有効にするとバイエル符号で恒星名が表記されます。バイエル符号を表示させる範囲は名前密度で調整することができます。



バイエル符号表示でも、固有名詞のある星は固有名が表示されます。



ギリシャ記号を有効にして名前密度を20%にするとかなりの密度になります。スマートフォンやタブレットで名前を表示させると画面の大きさで名前が邪魔になることがありますので、名前密度で調整してください。



星のシンプルオプション機能は、現在android機種のみ使用可能です。iOSやiPad OSでは不具合の為、2024年12月現在この機能が使用できません。シンボル・サイズをタップすると、星図に表示される星の大きさを変えることができます。



シンボル・サイズの標準設定70%になっています。
0%に設定すると、星が見えなくなってしまいます。
最大200%まで調整することができます。



androidタブレットの画面の場合、200%のシンボルサイズでも大きすぎませんが、スマートフォンでは大きすぎるので、ご使用のスマートフォンやタブレットによってお好みで調整してください。

色彩強度は星の固有色の強度を調整することができます。75%が標準設定になります。



色彩強度を0%にすると、星の色が白色になります。
色彩強度は100%まで調整することができます。



色彩強度を100%にすると、星の固有色を強調しますので、お好みで調整してください。

iOSでもアップデートで使用できる予定です。

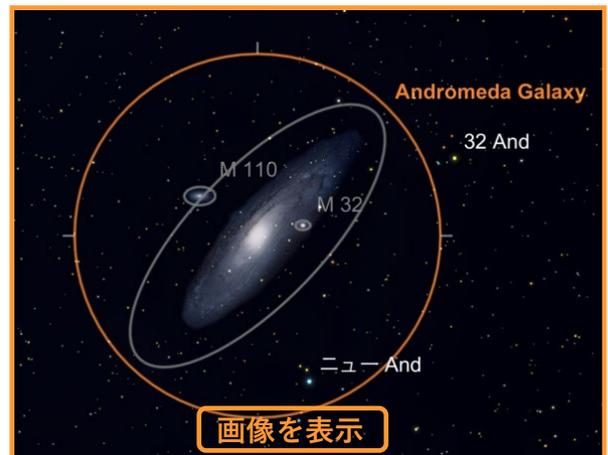
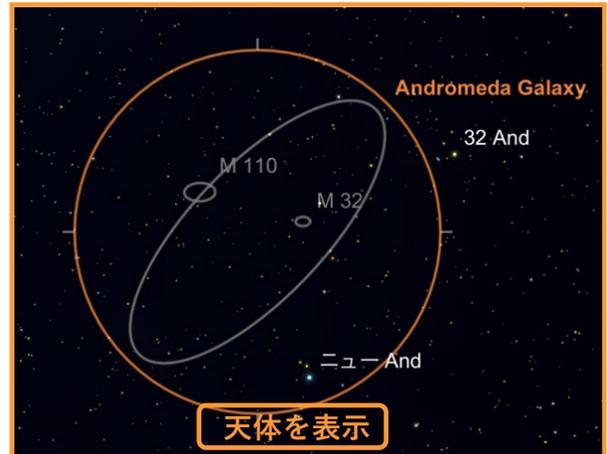


メニュー:設定:ディスプレイオプション:銀河、星雲、星団
(android版ではディープスカイで表記)

Originアプリの星図に星雲や星団、銀河などを表示することができます。メニューアイコンをタップして「設定」、[ディープスカイ]をタップします。



銀河、星雲、星団の表示では天体を表示をタップして有効にすると、星雲や星団、銀河などを○で表示します。



画像を表示をタップして有効にすると、拡大時に画像が表示されます。※表示されない天体もあります。

最も知られているもののみをタップするとアンドロメダ大銀河やオリオン大星雲などのメシエ天体などのみを表示します。





ワイドフィールドで表示（広角表示）をタップすると、星図が広角表示の場合でも、星雲や星団などの表示が増えます。

等級の制限は、視野の広さに応じて自動で変更されます。**次より小さい値は表示しない**で等級制限を設定すると、拡大しても表示されなくなります。

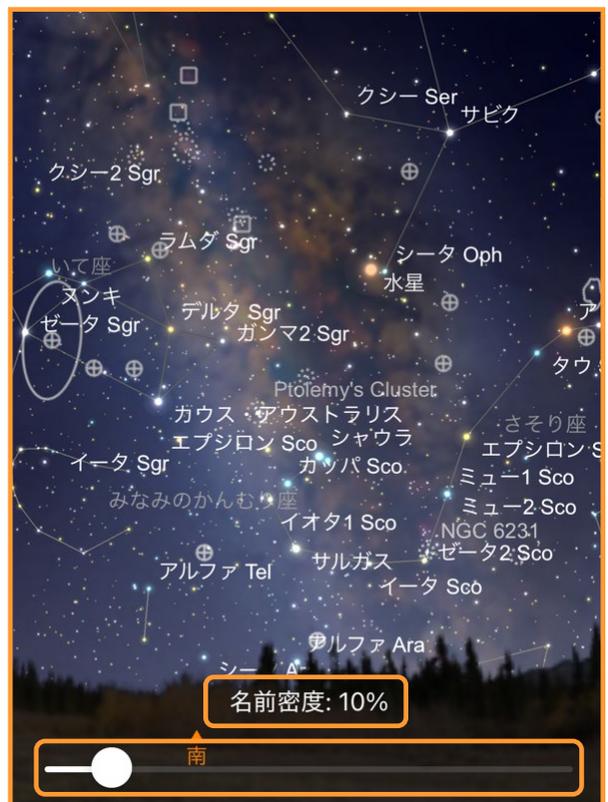
輝度は拡大された星雲や星団、銀河などの輝度を変更できます。お好みで調整してください。

天体名の表示では**名前を表示**をタップして有効にするとMやNGCなどの名称が表示されます。

固有名詞をタップして有効にするとAndromeda Galaxyなどの英語名称が表示されます。

名前密度はMやNGCなどの名称表示密度を調整することができます。見やすいように調整してください。

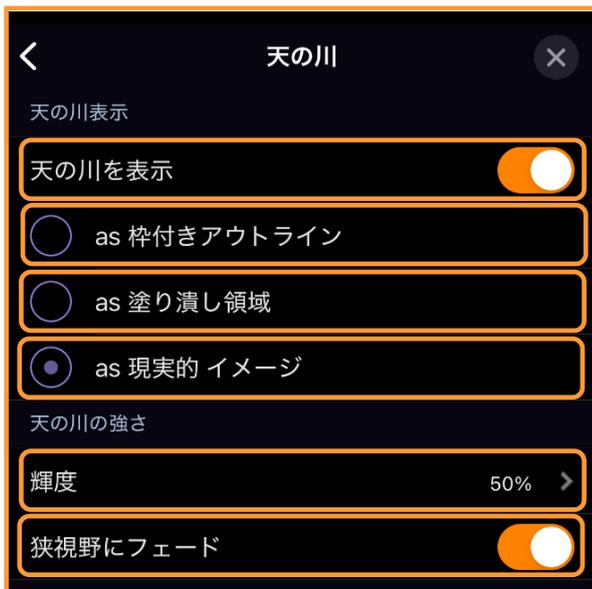
天体タイプの選択では表示する天体のタイプを選択することができます。**散開星団、球状星団、明るい星団、暗黒星雲、惑星状星雲、銀河、Galaxy Clusters**を選択することができます。Galaxy Clustersは銀河団を選択します。



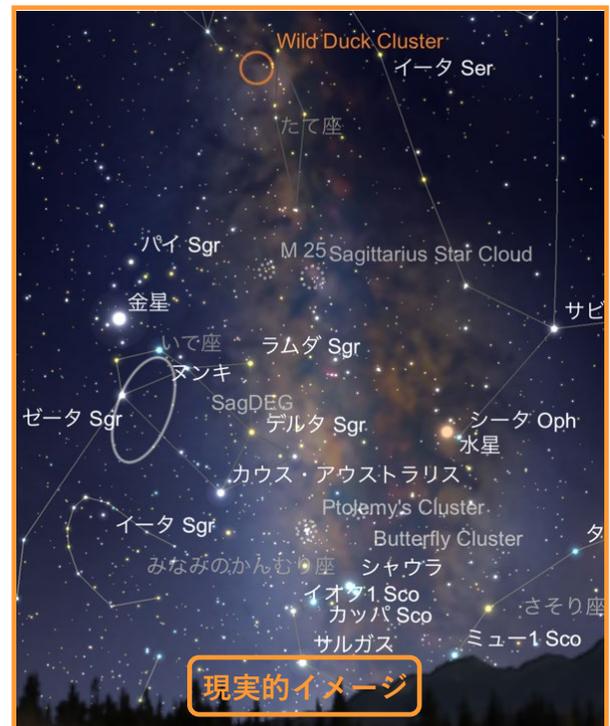
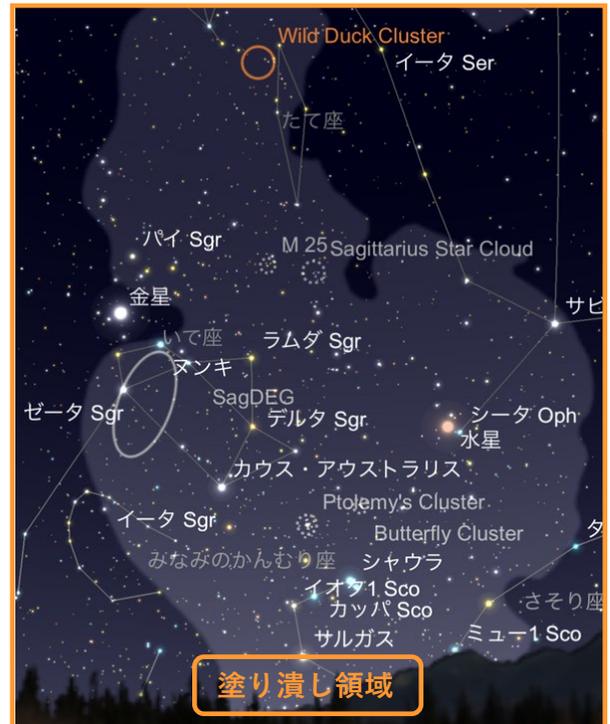


メニュー:設定:ディスプレイオプション:天の川

Originアプリの星図に天の川を表示することができます。メニューアイコンをタップして「設定」、[天の川]をタップします。



天の川を表示をタップして有効にすると3種類の天の川イメージから天の川を表示することができます。



お好みで選んで下さい。

天の川の強さでは輝度のスライダーを調整して天の川の輝度を調整することができます。また、図面を拡大した時に天の川の輝度を落としたい時に狭視野にフェードをタップして有効にすると、星図を拡大するごとに天の川の輝度が下がります。





メニュー:設定:ディスプレイオプション:星座

Originアプリの星図に星座線などを表示することができます。メニューアイコンをタップして [設定]、[星座] をタップします。



星座を表示をタップして有効にすると、星座線や星座絵、境界線などを表示することができます。黄道12星座のみ表示をタップして有効にすると12星座のみ星座線などが表示されます。



お好きな表示をお選びください。星座線や星座絵の輝度は輝度をタップしてスライダーで調整することができます。



タップして**選択**をタップして有効にすると、星座の周りをタップして星座境界線を表示することができます。



星座名の**名前を表示**をタップすると星座名を日本語で表示します。**略語を使用する**をタップすると略符を表示します。



星群を表示をタップすると、星座を見つける目印を表示することができます。夏の**大三角**や冬の**大三角**などが星群にあたりますが、日本特有な物と海外特有な物があり、日本ではなじみのない物もあります。

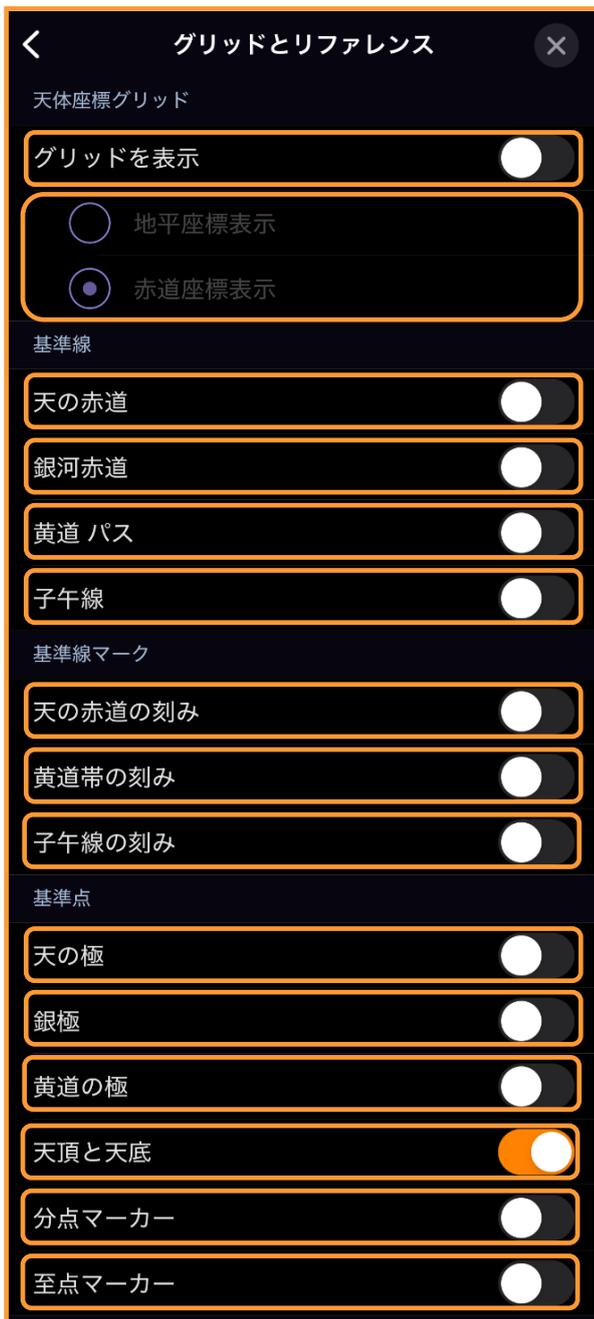


ウインターサークルは日本では**〔冬の大六角〕**として知られています。**名前を表示**をタップすると星群の名前を表示します。

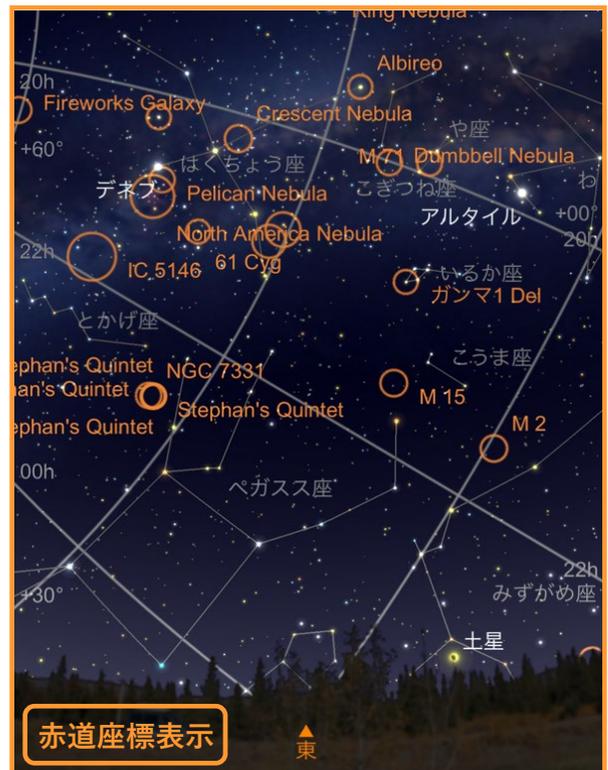
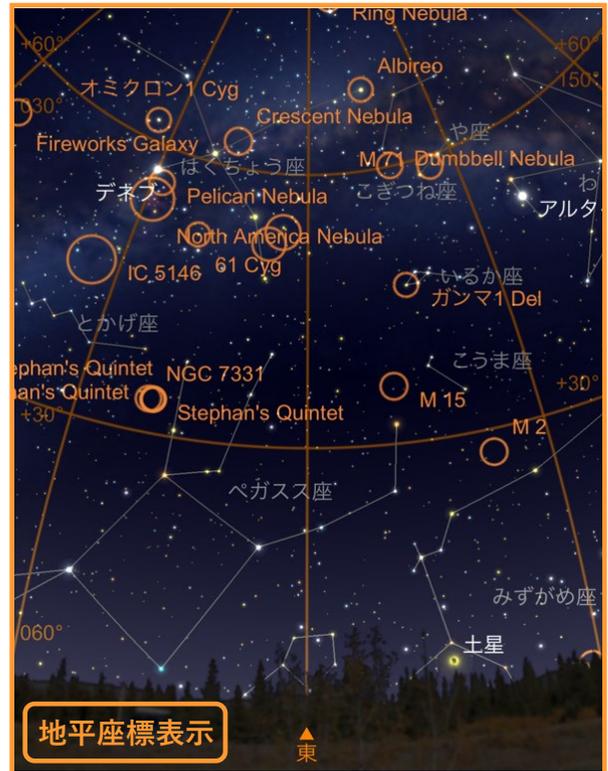


メニュー：設定：ディスプレイオプション：グリッドとレファレンス

Originアプリの星図にグリッド線などを表示することができます。メニューアイコンをタップして「設定」、[グリッドとレファレンス]をタップします。



天体座標グリッドのグリッドを表示をタップして有効にすると、グリッドを表示することができます。地平座標表示と赤道座標表示を選ぶことができます。



また、基準線として天の赤道、銀河赤道、黄道パス、子午線を表示することができます。



基準線マークは、天の赤道、黄道パス、子午線と併せて有効にするとそれぞれにメモリが刻まれます。



天の赤道の刻み

基準点として天の極、銀極、黄道の極、天頂と天底、分点マーカー、至点マーカーを表示させることができます。







メニュー：設定：ディスプレイオプション：強調表示された天体

Originアプリの星図に今夜のおすすめ天体を表示することができます。メニューアイコンをタップして[設定]、[強調された天体]をタップします。通常、標準で表示されるようになってい



天体をタップするとタップされた天体には十字線で囲まれて表示され、オブジェクト情報バーには選択された天体名が表示されます。



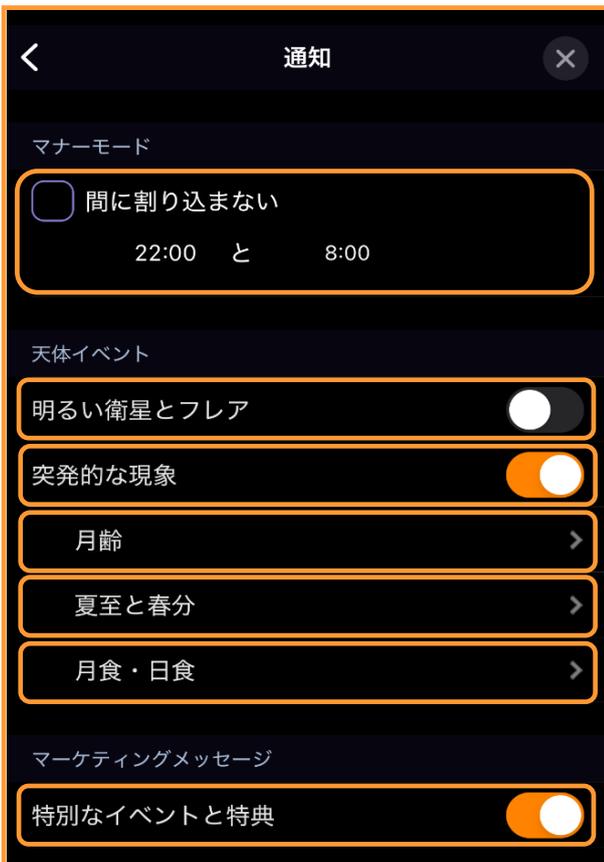
今夜のベストを無効にすると通常の星図画面が表示されます。

今夜のベストを有効にすると星図画面に今夜おすすめの天体がオレンジ色の○で表示されます。タップするとオブジェクト情報バーに選択された天体名が表示されます。



メニュー:設定:ディスプレイオプション:通知

Originアプリから天文現象の通知を受取ることができます。メニューアイコンをタップして「設定」、[通知]をタップします。



マナーモードの間に割り込まないをタップして有効にすると指定した時間の間はイベントの通知を設定していても届きません。Originアプリで撮像中に通知を受けたくない場合に便利です。時刻部分をタップするとピッカーが表示されますので、通知されたくない時間の開始と終了時間を設定してください。

天体イベントの通知を受取りたい場合は、タップして有効にしてください。明るい衛星やイリジウム衛星の通知を受けたい場合は、**明るい衛星とフレア**をタップして有効にしてください。月齢や月食、日食などの通知を受けたい場合は、**突発的な現象**をタップして、**月齢**、**夏至と春分**、**月食・日食**の横の>をタップすると詳細を設定できます。



月齢では**新月**、**上弦**、**満月**、**下弦**の通知を受取ることができます。タップしてチェックボックスに✓を付けてください。

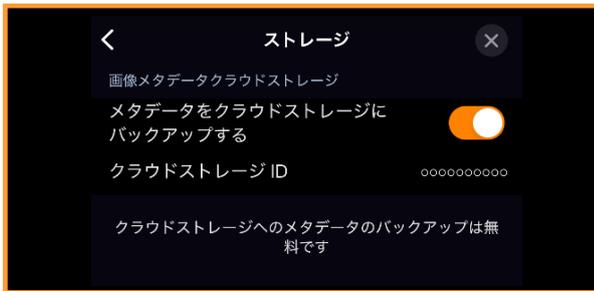


夏至と春分では**春分**、**夏至**、**秋分**、**冬至**の通知を受取ることができます。タップしてチェックボックスに✓を付けてください。



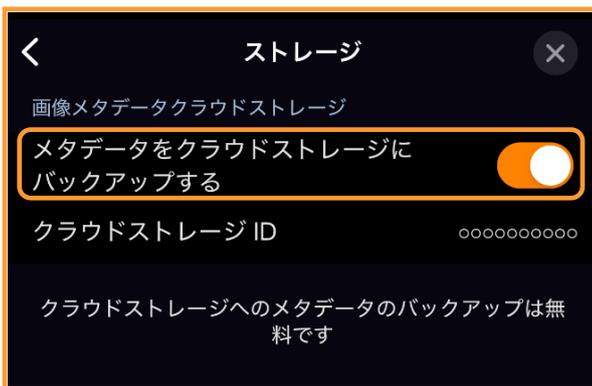
月食・日食では半影月食、部分月食、皆既月食、部分日食、皆既日食、金環日食、ハイブリッド日食（金環皆既日食）の通知を受取ることができます。タップしてチェックボックスに✓を付けてください。

マーケティングメッセージの特別なイベントと特典をタップして有効にすると、セレストロンや Simulation Curriculumからのお知らせなどを受取ることができます。



メニュー:設定:ユーザーデータ:ストレージ

Originアプリを使用して、メタデータをクラウドストレージにバックアップすることができます。メニューアイコンをタップして [設定] ユーザーデータの [ストレージ] をタップします。



メタデータをクラウドストレージにバックアップするをタップして有効にすると、無料でバックアップすることができます。

この機能は標準で有効になっていますので、バックアップしたくない場合は、タップして無効にしてください。



メニュー: 設定: 時間と場所: 日付と時刻

Originアプリの日付や時刻を変更することができます。メニューアイコンをタップして [設定]、[日付と時刻] をタップします。



Originアプリは西暦1年から4000年までの星空をシミュレーションすることができます。西暦を変更させるには、**年月**>をタップすると年月を設定するピッカーが表示されます。



年と月のピッカーを回して、希望の年月に設定してください。日付と時刻を設定すると現在の時刻を使用が無効になります。元の星図画面に戻る場合は**現在の時刻を使用**をタップしてください。

前月や翌月のカレンダーを表示したい場合は<、>をタップしてください。



日付を変更したい場合は、カレンダーの日付を直接タップして変更してください。

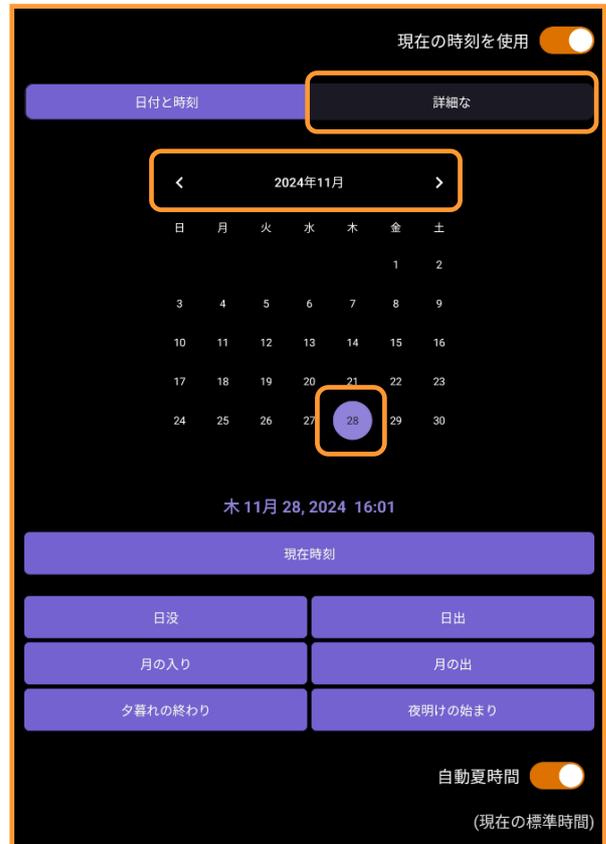


時刻を変更したい場合は時刻をタップすると時刻ピッカーが表示されます。時と分のピッカーを回して希望の時間に設定してください。また、ピッカーの時刻数字をタップするとキーボードでの入力にも対応します。

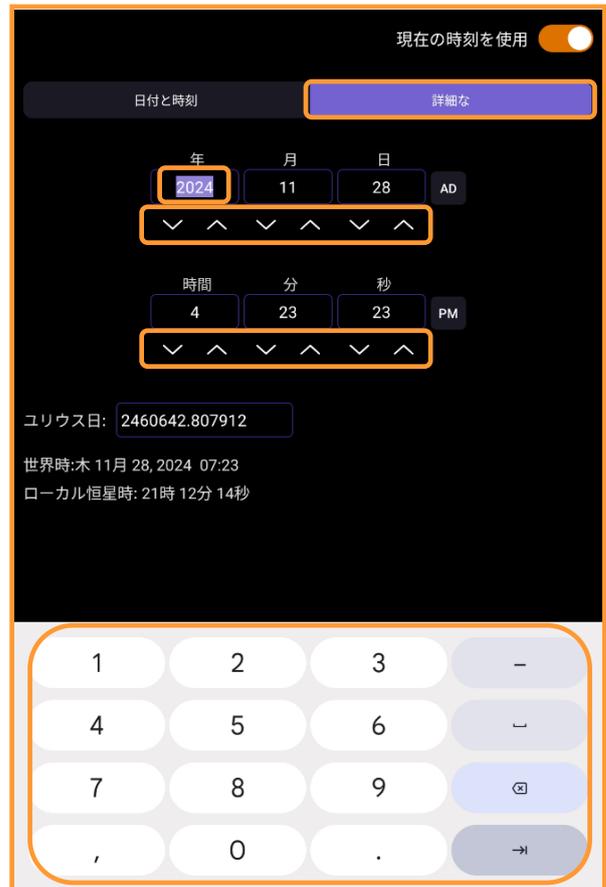


現在時刻に設定したい場合は、現在時刻をタップしてください。Originアプリで計算された日没、日出、月の入り、月の出、夕暮れの終わり、夜明け開始をタップするとその時間が自動で設定されます。日本では夏時間 (summer time) を採用していませんが、自動夏時間を有効にしても時間の調整はされませんので、そのままお使いください。

android機種の場合、少々操作方法が異なります。日の変更はカレンダーの日付をタップすれば可能です。また、月の変更は<、>をタップすることで変更できます。



西暦を変更する場合は詳細なをタップします。



上下矢印キーをタップして希望の日付・時刻に設定してください。また、日付・時刻の数字をタップするとキーボードが表示されますので、キーボードを使用して設定してください。



メニュー: 設定: 時間と場所: 位置

Originアプリの位置を変更することができます。メニューアイコンをタップして

[設定]、[位置]を
タップします。



通常はスマートフォンなどのGPSから自動で現在地を設定しますが、GPS非搭載のタブレットなどで場所を変更することができます。**現在地を使用**をタップするとGPS信号を読み込みます。

リストから場所を選択をタップするとOriginアプリにプリセットされている国や場所を選択することができます。GPS非搭載のタブレットなどでお勧めな方法です。



ロケーショングループから日本>を探しタップします。場所からお住まいの地域を選択しタップします。TokorozawaやTokyoなど選択することができます。プリセットデータを使用していますので、WiFiしか接続できない機種でも場所の変更が可能です。

Origin Intelligent Home Observatoryとスマート

フォンなどをネットワーク接続モードで接続している場合は、地図から場所を選択が使用できます。ダイレクト接続モードでOrigin Intelligent Home Observatoryと接続している場合は、インターネット接続ができませんので、この機能は使用できません。



地図から場所を選択をタップするとお使いのスマートフォンの地図アプリが起動します。場所を特定し、その場所を指で長押しするとピンがドロップされます。画面の×をタップして地図画面を閉じるとピンがドロップされた場所の緯度と経度、高度が反映されます。



カメラ画面:スナップショット

Origin Intelligent Home Observatoryで地上風景や月などを撮影する場合や露出時間が1秒以下の撮像をする場合は、スナップショットモードに切替える必要があります。まず、カメラ画面アイコンをタップしてカメラ画面を開きます。



次にカメラ画面のアイコンをタップします。



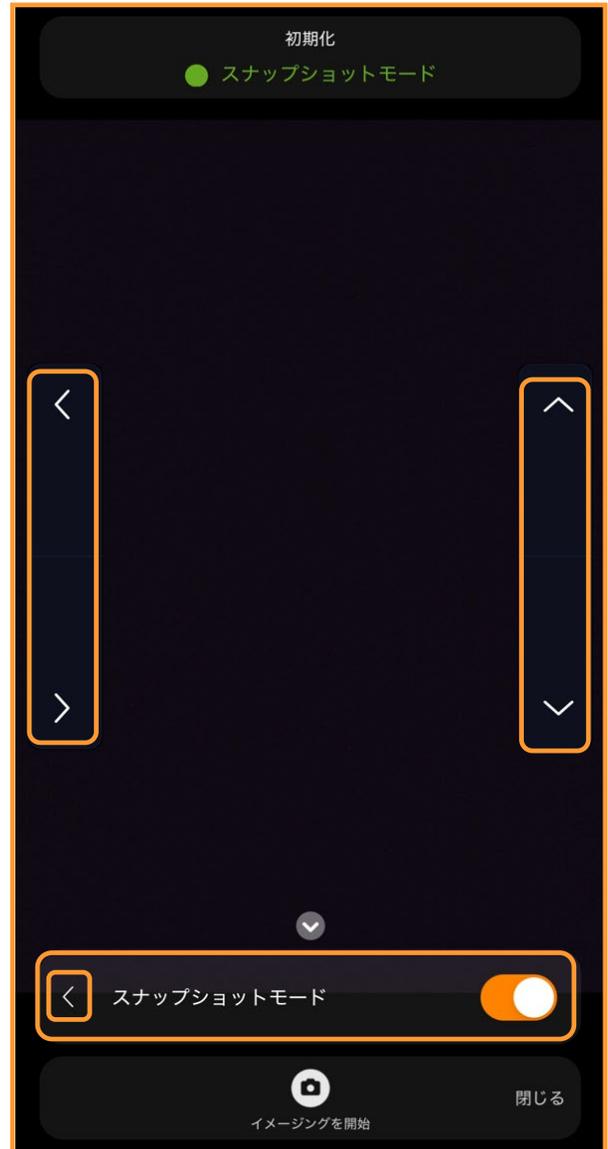
最後に [スナップショット] アイコンをタップします。



スナップショットモードをタップして有効にすると、Origin Intelligent Home Observatoryを目標物に向けることができる様に、[手動旋回コントロール] が画面に表示されます。

半月以上になると、月は明るすぎてOrigin Intelligent Home Observatoryでの自動導入は失敗

してしまいます。手動旋回コントロールを使用して導入してください。



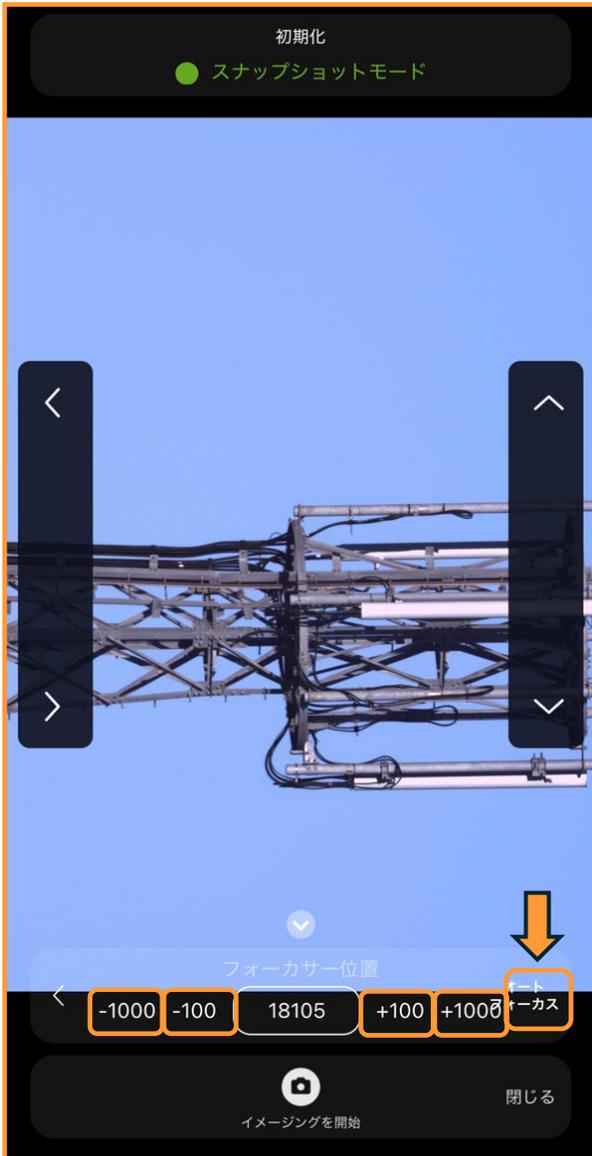
スナップショットモードの [<] をタップすると、スナップモードの詳細設定を行うことができます。



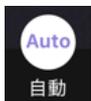
スナップショットがオートフォーカスの時は、フォーカスのみピント調整として使用することができます。



通常はそのままでピントは合うのですが微調整したい場合に「フォーカス」アイコンをタップします。マニュアルフォーカスに切り替わり、ピント調整をすることができます。



ピントを微調整する場合は「+100」や「-100」をタップしてスマートフォンやタブレットの画面で確認してください。画像をピンチアウトして拡大すると確認がしやすくなります。ピントが分かりにくくなった場合には「オートフォーカス」をタッチするとピント調整されます。

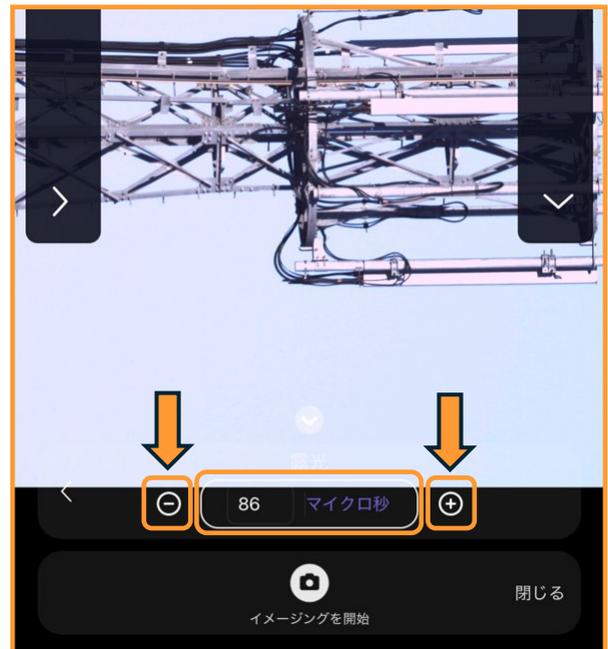


また、「自動」をタップするとマニュアルモードになり、ピント調整以外も変更させることができます。すべてのアイコンが有効表示されますので、ISO感度や露光時間の調整も可能になります。

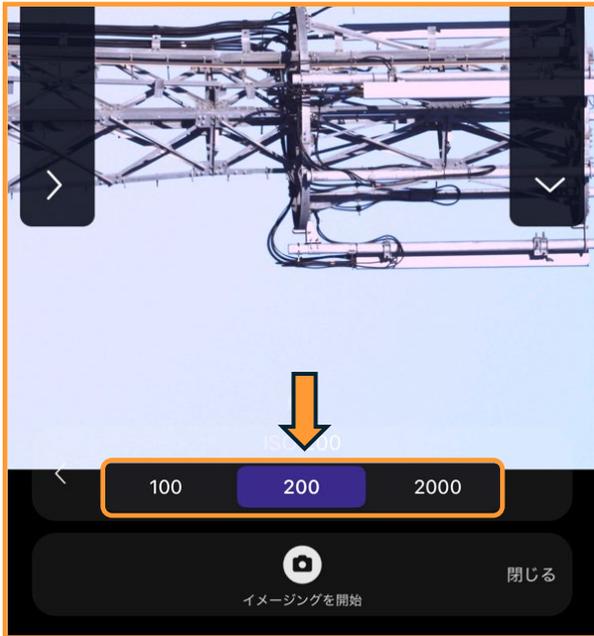


「露光」アイコンをタップすると、露光時間の調整をおこなうことができます。

「+」「-」で露光時間を調整してください。

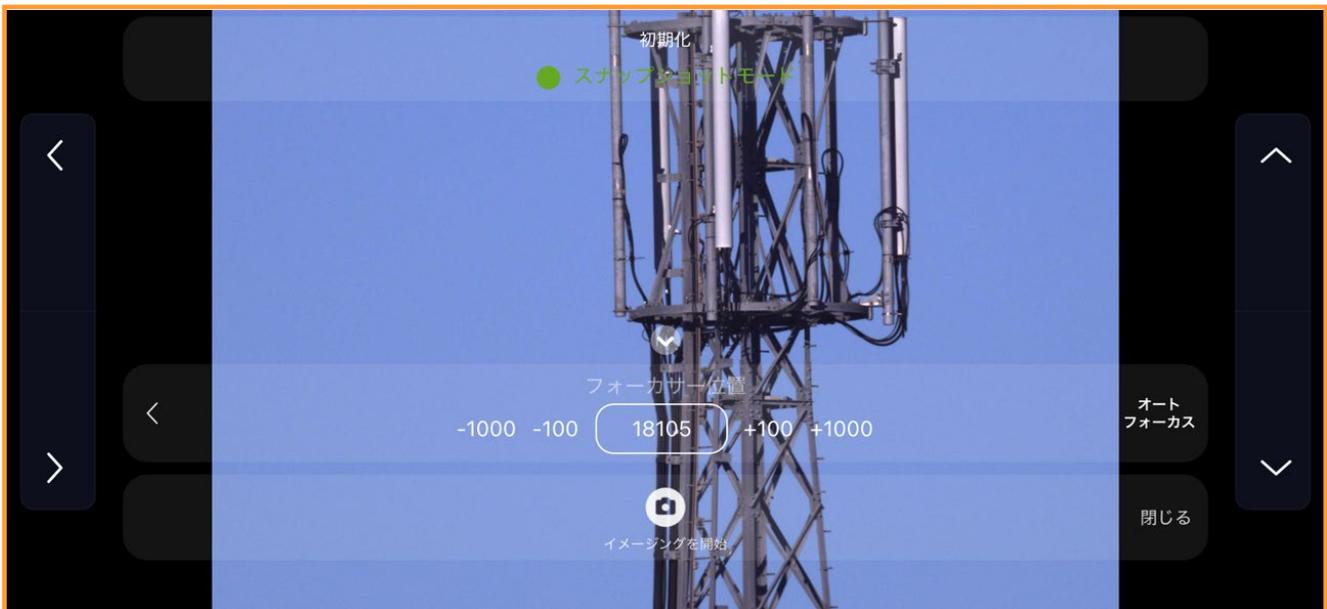


「ISO」アイコンをタップすると、ISO感度を調整することができます。ただし、スナップショットではISO2000は明るくなりすぎますので使用しないでください。モードになるとISO感度や露出時間を調整することができます。



スナップショットモードはスマートフォンなどを縦で使用せず、横に傾けて使用すると、画面の上下が一致して使いやすくなります。

(この取扱説明書は画像内のアイコンや数字が読める大きさにするため、縦表示にしています)



製品についてのお問い合わせについて

弊社ホームページのお問い合わせメールフォームにて受け付けております。

<https://www.vixen.co.jp/>

またお電話によるお問い合わせも受け付けております。

カスタマーサポート

電話番号： **04-2969-0222** (カスタマーサポート専用番号)

受付時間： **9:00~12:00、13:00~17:30**

(土・日・祝日、夏季休業・年末年始休業など弊社休業日を除く)

※左記電話は都合によりビクセン代表電話に転送されることもあります。

お客様のご質問にスムーズに回答させていただくためにも、上記のお問い合わせフォームのご利用をお薦めいたします。

※受付時間は変更になる場合もございます。弊社ホームページなどでご確認ください。